

格物探原譯解

高木玄真譯

卷一

特37

347

館 函 架 號 六〇	大日本教育圖書館		
	第四室		
	二册	九架	三函
	號		

052800-001-1

特37-347

格物探原訳解 卷1-3

章廉臣/著

33

M11

CAA-0020



格物探原譯解序

天六合之間、萬有之物、雖廣且繁、而約之、不過有機無機、
 二質、矣、方今理化大開、其學日精巧、而取其無機質、而親
 和分析之、以製造物体、然至有機質、乃雖化學者、亦決不
 能如之何也、然則天地人物、其初自然而生者也、歟、曰、否、
 即上帝造之也、上帝不帝造之、又且由其性、與之以食、且
 保護其生、就中特賦人以靈魂、與自由、而於之自能、知其
 善惡、故責之以罰、而賞之以恩、而至秋毫之末、無所失也、
 然世人行善必難、而行惡必易、日為罪惡、無所不至焉、假
 令雖悔前罪、矣、免其罪乎、是以上帝深哀憐之、尚使其子
 耶穌、代人以贖罪、而耶穌復生、歸于天、永為救世主、矣、蓋

米國韋廉臣 著
 日本高木玄真譯解

格物探原譯解

明治十一年新刻

敬虔堂藏



敬虔堂藏板

格物探原譯解序

夫六合之間萬有之物雖廣且繁而約之不過有機無機
二質矣方今理化大闢其學日精巧而取其無機質而親
和分析之以製造物体然至有機質乃雖化學者亦決不
能如之何也然則天地人物其初自然而生者也歟曰否
即上帝造之也上帝不帝造之又且由其性與之以食且
保護其生就中特賦人以靈魂與自由而泠之自能知其
善惡故責之以罪而賞之以恩而至秋毫之末無所失也
然世人行善必難而行惡必易日為罪惡無所不至焉假
令雖悔前罪莫免其罪乎是以上帝深哀憐之尚使其子
耶穌代人以贖罪而耶穌復生歸于天永為救世主矣蓋

格物探原譯解序

文

上帝以在天在地之諸權總任其子耶穌故耶穌於末日審判人々生前之善惡也夫有創造之力者亦必有毀壞之力故以創造為元始以毀壞為末日此書欲令人溯其始而知其終且使後世知有神子降世之靈妙也世之學者率皆傲慢自賢以輕蔑上帝及耶穌曰世間愚者之輩多倚賴上帝噫何不思之甚耳彼以其體軀為自成者歟將為父母所生歟乃造之者惟上帝耳聖書曰元始有道道指化一二者乃上帝之子耶穌基督道與上帝共有也萬物以道而成嗚呼上帝可畏敬也夫耶穌可愛敬也夫

明治十一年四月下澣 敬虔堂高木玄真謹撰

格物探原詳解

凡例

一易ニ大ナル哉乾元萬物資テ始ルト言ヒ又乾ハ天也ト云ヒシヨリ世ノ儒者ハ遠ニ天ヲ以テ上帝トス、非ナルヲ知ラザルナリ、上帝ナル者ハ穹蒼ヲ以テ居所ト為シ、日月星辰ヲ明宮ト為シ地球ヲ別館ト為ス、其奧妙ノ創造ハ、皆二者ノ中ニ布滿ル、今著ス所ノ書ハ、正ニ小兒ノ客ニ對テ、堂室ノ陳設ヲ指點テ、主人ノ榮耀ヲ知ラシムルガ如キノミ、

一上古之世、中國ノ聖人ハ、咸上帝ノ榮耀ヲ識ル、詩書ノ載ル所ハ、昭ニ上帝ニ事ヘ、明昭ナル上帝及ビ萬

ナル上帝等ノ如シ、故學スルニ能ハズ、後ノ學者
 數典ニシテ、而メ其祖ヲ忘レテ、或ハ太極ヲ以テ之
 二當テ、或ハ道家者流ノ玉篋ヲ以テ、上帝ト為スヲ
 信ズルハ、則チ尤モ荒謬ノ甚シキナリ、是レ書ニ云
 フ所ノ、正ニ堯、舜、禹、湯、文、武、周、孔ガ稱スル所ノ上帝
 ハ、世俗ノ所謂上帝ニ非ルナリ、亦ク古ヨリ今ニ及
 ビ海ノ内外ニ薄ル獨一無二ノ上帝ハ、但西國ノ上
 帝タルニ非ルナリ創造ノ意ヲ歷述シテ、美ヲ一尊
 二歸ス正ニ路ヲ引ク人トナリテ、中華ノ人士ヲ導
 キ、仍テ中華ノ古道ニ回サント爾云フ、
 一上帝ハ、全知、全能、至聖、至神、ニシテ、正ニ孔子ノ所謂、

成功文章ニ巍煥ニメ名テ難キ者、後生ノ小儒、井觀
 管窺ノ如ク、鳥ンゾ能ク其萬一ヲ測ラン、茲ニ論列
 スル所ハ、姑ク諸ノ見聞ニ得ル所ノ者ニ就テ之ヲ
 言フ、人ノ至高至大之ニ臨ンデハ、上ニ在リ之ヲ贊
 シテ、敬ラニ在ル者、乃チ普天下人ノ父ハ、其普天下
 ノ人ヲ愛スル一、亦ク慈父ノ子ヲ愛スルト等キヲ
 知ラント欲ス、
 一是ノ書ニ稱スル所ノ上帝ハ、別本ニ稱スル所ノ天
 主、天父、真神ナル者ト同シ、均ク此レ獨一無二ノ大
 主宰ナリ、

同譯解凡例

一此書ハ英國蘇格蘭ノ韋廉臣氏ノ「ネチユラルセヲロ子」ト謂フ原本ニシテ同氏ガ清國ニ於テ其光緒二年丙子ニ漢字ヲ以テ刊行セシ書ナリ方今我政府免許ヲ經テ譯解シテ世ニ公ニセント欲ス

一此書ノ里程距離及ビ測量或ハ重量水量等ノ量目ハ統ルニ支那ノ用量トス例之ハ彼一里ハ我五丁十七間四尺九寸五六厘ナリ故ニ彼ガ百五十里ハ我廿二里二丁世三間五尺四寸ナリ又彼ノ一尺ハ我一尺二寸四三二一八トス又彼ノ一兩八十錢一五ニ毛又一錢ハ我一匁〇一厘五毛二十リ又一磅

ハ我百廿錢零々六ニメ所謂ハ十五磅ハ我壹貫八百目ナリ此法ニ由テ較算スベシ

例

一譯字ニ於テハ讀ミ易キ為ニ方今我日本ニ用ユル所ニ從フテ本書ト往々異ニスルアルモ其意義ニ於テ意味同シ看官之ヲ咎ムル勿レ

一書中人身解剖生理ノ名称ニ於テハ方今我日本ニ用ユル譯字ニ換ヒ其早ク知リ易キ為トス就中其圖ニ於テハ往々予ガ撰スル解剖摘要圖式ニ換テ其明亮ナラントヲ欲スルノミ

明治十一年四月下

高木玄真識

食ヲ論ス並圖第十六 血ヲ論ス並圖第十七

卷之三

心ヲ論ス並圖第十八 腦ヲ論ス並圖第十九

目ヲ論ス並圖第二十 耳ヲ論ス並圖第二十一

鼻ヲ論ス並圖第二十二 口舌ヲ論ス同上

皮膚及ビ手ヲ論ス同上

以上

格物探原譯解卷之一

英國 蘇格蘭 韋廉臣 著

日本 大阪 高木玄真 譯解

天地ヲ論ス第一

人ハ斯世ニ生レテ、上ニハ天ヲ戴キ、下ニハ地ヲ履ミ、

上ニハ日月星辰アリ、下ニハ山海萬物アリテ、心ヲ娛

ミ、目ヲ悦バシムモノ、勝テ計フヘカラス、獨吾人ハ萬

物ノ靈ナリ、萬物ヲ生理ス、故ニ當ニ世間ニ凡有物ノ

體質性情ト、夫ノ利用ノ實トヲ、詳カニ求ムヘシ、而シテ

后ニ吾以テ萬物ヲ取テ、而シテ之ヲ用フ、而シテ萬物皆以

テ吾ノ利益ニ供フヘシ、然ラサルキハ、是レ家ヲ持ツ
 者、其産業何器用何服役何ヲ識ラズバ、將タ何ヲ以テ
 治理テ、而ソ之ヲ督率センヤ、惟此ノ如キノミナラス、
 萬物ヲ主ル能ハズンハ、必ス萬物ノ為ニ僕トナリテ、
 萬物ヲ役使フ能ハズ、必ス萬物ノ為ニ用カサレン、茲
 ニ余天地萬物ヲ修談シ、格致工夫ヲ細究ルヲ要セ
 ス、但人世間凡テ物ノ内ニ各意義アリテ、存スルヲ
 知ント欲ス、意義アラハ無量無限ノ主宰アリテ、而ソ
 之ヲ創造テ、之ヲ措置ス、則チ上帝是ナリ、比如ハ人選
 ニ一輪船ヲ見テ、必ス其船ノ自然ニシテ有ルヲ能ハ
 ス、自ラ海ヨリ出ルニ非ズ、天ヨリ降ルニアラス、必ス

人アリテ作り成セリ、又其船ノ前後形状ヲミルニ、駛
 行ニ便ニ、帆樞舵鐵纜ハ旋轉ニ便ナリ、必ス此作シ
 者ノ聰明ノ具リアルヲ知ル、更ニ其機器ノ水櫃鐵櫃
 吸水筒アマタノ鉄輪彼ト此ト牽引、又下ニハ鐵梁横
 ニ卧シ、首ヨリ舟尾ニ出テ、外ニハ水輪ヲ撥キ、愈心ニ
 觸サトル、此ヲ造シ者ノ大智慧ヲ具ヘシヲ知ル、舟ノ
 後ニハ廚廡アリテ、器具精潔、肴饌豐美セリ、舟ノ前ニ
 華屋、飯堂、客堂、寢室、浴室アリ、舟ノ面ニ懸ル、小艇三五
 アリ、以テ舟ノ損壞ノ備ニアリ、資テ以テ岸ニ濟ルヘ
 シ、風雨表、寒暑表、指南針、上下ニ三層ヲ設ケ、千里鏡、大
 小、水龍機器、及ヒ極溺器具、其名イロク、亦タイロク

物皆多ク儲置リ、以テ損缺ルニ備フ、此ヲ作ル者惟
 大ナル智恵ヲ具フルノミナラス、抑且ツ人ヲ愛シテ
 己ヲナキノミナラス、抑且ツ拯救ノ至意アリ、更ニ試
 其坐椅、鋪墊、牖戶、幔帳、地ニハ華麗、壁ニハ名畫ヲ懸ケ、
 種々陳設ルヲ觀ルニ、光リ耀キ目ヲ奪フ、其中ニ入ル
 者、心曠カニ神怡ビ、是レ又此ヲ作ル者ノ人ニ興勝ラ
 資ルヲ樂ムナリ、吾人斯世ニ生テ居止甚々宜シ、五穀
 百果ハ以テ食ニ足ルヘシ、絲、綿、布、帛、毛皮、モ以テ衣ニ
 足ルヘシ、五金鉄、金、銀、銅モ以テ用ニ足ヘシ、馬、牛、驢、駝モ
 以テ服役スヘシ、石ハ室ニ築クベシ、木ハ舟ト為スヘ
 シ、時序ニ常アリ、寒暑ハ紊レズ、晝ハ日アリテ照臨化

生ス、夜ハ星月ガ燦布森列ス、此ヨリ觀ルヘキ者、山海
 樹木花草等ノ花ニハ香アリ、色アリ、木モ亦々香アリ、
 鳥ニハ好キ音アリテ、各極メテ人ニ宜シ、又人が疾病
 ヲ患ヘハ脈アリテ以テ示スニ足ル、惟如此ノミナラ
 ス、吾人身内ニ各才能ヲ具ヘ、自ラ醫治ヲ行フ、藥ナシ
 シテ而シテ効アリ、此ヲ觀テ世界ヲ知ルヘシ、早一ノ聰
 明ノ人ヲ愛スノ主宰アリテ、之ヲ為シ之ヲ創造玉フ、
 倘主宰ガ人ヲ愛スルニ非ザルハ、世以テ樂土ナカ
 ルヘシ、花ヤ草ハ、香モ色モナカルヘシ、飲食穀果モ以
 テ臭惡ナリ、其格外ノ屬ト為ン也、今俱ニ此ナキハ主
 宰ガ人ヲ愛スルノ至意ナシトハ謂マジ、或人謂ニハ

各物原註解 卷之一 敬虔堂藏板

無極が大極ヲ生シ一動一靜ニシテ萬物ヲ生スト此
 實ハ然ラス、假如人アリテ吾ハ此輪船ヲ造ルナラ
 ス、吾亦夕未夕之ヲ造シ者モ見ス、是殆自然ニシテ而
 モ然アルトセバ、言フ誠ニ然ルトスルカ否ナ、假令ハ
 人アリテ謂ニハ、銅、鉄、鉛、木、ガ各性情アリ、各力量アリ
 テ、能ク自ラ斧、鋸、鋸、鋸、鋸、鋸、等ノ器、綿、麻、葛、各材質ヲ
 具ヘ、能ク自ラ繩、纒、布、帛、等ヲ作り、此數ノモノカヲ合
 セ、併セ作り、能ク自ラ一大輪船ヲ成スト、其信トスル
 カ、否、假如人アリテ輪船ニ謂ニ能ク自ラ一小輪船
 ヲ生テ、日ニ益大クナリ、自ラ一大輪船ト成ルト、此言
 輪船ガ自然ニシテ有ル者カ、實ニ然ルカ然ズ、果シテ

其如此クナラハ、必ス輪船ヲ造リシ者ハ、無量ノ智慧
 無量ノ聰明ヲ具有セン、其但一輪船ヲ作ルノミナラ
 ス、并ニ能ク輪船ニ予ルニ、智能技巧ヲ以テ、自ラ一輪
 船ヲ生セ令ルヲ為ス也、或人謂ク土ニ五穀ヲ産ムハ、
 人ノ首ニ髮ヲ生スル如シ、又萬物ノ化生ヲ見テ此世
 宙生々ノ己サルヲ謂テ、何ノ始初ナク亘古ヨリ、
 自然ニシテ然ルト、若是其然ルカ否、人ミナ白土ヲ以
 テ搏テ雞卵ヲ為ルヘシ、假如人アリテ更ニ能ク卵
 白卵黃ヲ作り、并ニ種子ヲ作り、卵内ニ置テ雞ヲ産
 令ハ、孰カ巧ミ孰カ拙キ、立ニ難ジ難ラス、如シ其雞雞
 ヲ産ムノ卵ヲ謂テ、自然ニシテ而モ然ルト、之ヲ造成

各物深原語解 卷之一 四 胡慶堂疏

者非アト、豈ア大愚人ニ非アランヤ、東洋ニ能ク紙ヲ撚ネリ
 テ球ト成ナシテ、水面ニ擲ナテ登ル時ニ脱キ出シ、或ハル船
 トナリ、或ハ人トナリ、或ハ水鳥トナリ、諸レ此ニ類セ
 シ勝テ計フベカラズ、巧妙ヲ具有ニ非バ鳥ゾ此レアラ
 ン、又野雞ノ如キハ卵最モ小ナリ、然ルニ内ニ兼テ骨、
 肉、毛、血、眼、鱗、翅、羽、毛、彩色等ノ質アリテ、母雞ノ翅ノ
 下ニ櫻シテ、後ニ造テ産ス、體質純全ニ、羽毛ハ華彩
 アリ、此ヲ作ル者ハ、豈無限無量ノ智巧アラザランヤ、
 假如人アリテ、此卵ハ乃チ野雞ノ産ム所、苟クモ雞ナ
 クンハ何ゾ卵アラント謂バ、雞實ニ聰明アラン、然リ
 ト雖モ雞ガ卵ヲ産ミ、卵ガ雞ヲ産ム、上ヨリシテ之ヲ

推考セバ、必ズ根本アラン、根本ハ則チ上帝ナリ、雞ノ
 本ニ生活ハ然ルニ、自ラ能ク生活スルニ非ズ、上帝ニ頼
 テ生活ス、凡テノ物ミチ根本アリ、皆意義アリ、意義ア
 ルハ、必ズ智慧ヨリ出ル、故ニ凡テ天地萬物ハ、必ズ開
 首ニ之ヲ創造セシ者アラン

物質ヲ論ス 第一

格致家ハ世間萬物ヲ察スルニ、六十二元質ノ配成ニ
 係ルヲ知ル、元質トハ獨一質タリ、一ツ成リテ易ラズ、
 他質ノ其中ニ雜ルトナシ、亦タ更ニ化ルトナシ、其中
 ニ四十七ハ金類トシ、十三ハ非金類トス、而メ六十二
 ハ、恒ニ用ヒズ、恒ニ用ル者ハ十三ナリ、而シテ動植諸

物則チ又僅ニ四質ヲ用ヒテ之ヲ成ス、四質トハ是レ
 何ゾ、曰ク炭氣曰濕氣曰養氣曰淡氣ナリ、凡テ植物ノ
 花葉ト動物ノ骨肉ハ皆此四質ヲ合テ之ヲ成ス、間硫
 黄及ヒ燐ニ質ヲ用フル者アリ、其偶ノモ、動植ノ類
 ニ甚タ繁シ、而シテ僅ニ四質ヲ用フ、其法維何ソ、曰ク一ノ
 位置ヲ易ハ、即チ一物ニ易ル、木ノ位置ノ如キハ、淡炭
 養炭ナリ、肉ノ位置ハ、淡炭養炭ナリ、骨ノ位置ハ、淡炭養炭トス、乳ノ
 位置ハ、淡炭養炭又血ハ、淡炭養炭トス、卵白ハ、淡炭養炭トス、又僅ニ
 二質ヲ用ル者アリ、水ノ如キハ、淡炭養炭ナリ、糖ノ如キハ、淡炭養炭
 ナリ、此六十二元質ハ、萬物ヲ配成ス、猶西國ノ二十六
 エビ、母字ガ配合シテ、言ヲ成スハ、ableエールノ如キ、則チ

能ヲ為シ、ableハ則チ泡ヲ為シ、tableハ則チ帖ヲ為ス、恒
 ニ用フル者、凡ソ六萬言、此外ニ亦々六千萬餘言ヲ成
 ス、既ニ二十六字母ガ能ク否ナ自ラ配合ヲ行ヒ、成ス
 ニ語言ヲ為ス、或ハ成スニ一卷ノ書ヲ為ルカ、吾其必
 ス能ハサルヲ知ル也、然ルルハ六十二元質ハ、智慧ヲ
 具極シアル者ニシテ、之ヲ配成シテ、馬ゾ能ク、世界萬
 物ヲ成スニ非ス、朱子云フ、理ト氣ト合ヒ、便チ知覺ヲ
 能クス、此レ解スヘカラス、理ハ是レ死物ニシテ、亦タ
 空虚ニ屬ス、焉ソ能ク作為セン、人ガナクンバ、一卷書
 文ヲ成ス、能ハス、上帝ナクバ、詎ゾ能ク世界ノ一物
 モ成サン、

地球ノ形勢ヲ論ス 第三

地球ハ形圓ク亦夕扁圓ニ屬シテ、柑子ト等シ、山原ノ
 高下平ラナラス、亦夕柑子ノ外殼ト等シ、其據三アリ、
 一ツハ船ノ遠キヨリ来ラハ先ツ挽稍ヲ見ル、再ヒ近ク
 シテ漸ニ蓬帆ヲミル、又近クシテ乃テ船身ヲミル、二
 ニハ月蝕ノ時二月ノ中ノ黑影ハ即チ地ノ影ニシテ、
 地球カ圓ク非ズンバ、此圓キ影ヲ出スヲ能ハス、三ニ
 ハ則チ人ガ地球ヲ繞リ行ク、余或時ニ中國ヨリ船ヲ
 開キ、西ニ行キテ英國ニ至レリ、又西ニ行キ美國ニ至
 仍西ニ行キテ日本ニ至ル、回テ中國ニ至レリ、是レ地
 球ノ圓キハ復々疑ヒナシ、人ガ毎日太陽ヲミテ東ヨ

リ舛リ西ニ墜ト、真ニ如此ニ非ス、乃チ地球ガ一日ニ
 一轉スルニ由リ然リ、其證據甚々多シ、今試ニ其一ヲ
 言ンニ、太陽ハ地ヨリ大ナル計レハ、一萬々三百八
 十四千四百七十二倍ナリ、假令ハ人ガ周圍ノ烤レル
 一平景ノ其側ニ將ニ家屋ヲシテ、輪轉セシメントス
 ルヲ欲セシニ、抑平景ヲシテ輪轉セシムルガ如シ、是
 レ地球ハ太陽ヲ繞リテ、太陽ガ地球ヲ繞ルニ非サレ
 一ヲ証スルニ足レルナリ、人ノ見ル所ノ特ニ目ガ其
 迷ヒヲナスノミ
 地球ノ圓キニ如許ノ意義アリ、其一ハ省地ト為ス故
 ニ、蓋シ圓キハ人物ヲ容ルニ、方ナル者ト比スレハ
 各勿采景翠翠

七 改夏名載反

益多シ、且ツ方ナルキハ輪轉スル能ハス、人モ亦々圍繞テ行クヲ能ハス、地面ニ海アリ、陸アリ、其陸地ヲ分テ六大洲、亞細亞、歐羅巴、亞非利加、亞美利加、澳大利亞、哥里蘭、又名綠地、其地極テ北ニ常ニ氷ル其氷色ミドリ色故ニ其名アリ、六大洲ノ形勢ハ、南面ガ俱ニ尖リ削テ、其餘ノ小キ島モ亦タ多ク然リ、如此キ形勢ハ俱ニ大利益ニシテ、蓋シ南面ハ暑多キヲ以テ、故ニ其洋海ニ近ヨリテ以テ温涼ヲ劑、フテ、以テ雨露ヲ資ク、其尖削ニ東面ニハ俱ニ海島アリテ、西面ニハ則チ無シ、朝陽暖氣ヲナシテ西ニ較ブレハ便トス、又東半球ハ大洲ニ東面ニ横列シテ、西半球大洲ハ南北ニ縦列ス、縦列スレハ地氣が兼テ、

大冷、大熱、微冷、微熱、凡テ宇内産スル所リ物、亦々皆具備リ、其形勢南北ハ極メテ長シ、東西ハ甚々窄シ、左右ハ、洋海ニ中ニ大河アリテ沙漠ナシ、皆草木ソダツベシ、横列ノ邦ハ約ツ六七分ハ海ヲ去ル、甚々遠シ、故ニ熱キ片ハ極テ熱ク、冷ル片極テ冷テ、曠野ニハ沙漠、曠野多シ、其近海大國ニハ各、大河アリ、中國ニハ黄河、洋子江、西河アリ、滿洲ニハ黑龍江、松花江、大遼河アリ、高麗ニ哀江アリ、安南ニハ瀾滄江アリ、暹羅ニ湄南河アリ、緬甸ニ怒江アリ、伊犁ニ瓦底河アリ、印度ニ恒河、印度河アリ、故ニ亞細亞、東南ノ海ニ近キ諸國ハ、地氣ハ人ニ宜シク、亦産物モ是レ備ル、歐羅巴洲ハ三面ハ、

各物深原釋解 卷之一 八 歐羅巴洲

海ヲ距テ、各國ニ皆大河アリ、其綺ナル者ハ海ノ股
 ノ内洲ニ入ルノ内外ノ各地ハ、海ヲ距ルル俱ニ相似
 タリ、南ハ赤道モ亦タ遠シ、地氣ハ温涼ニシテ、其土ノ
 産物及ヒ養生ノ諸物品ニ含ムニ、火多クメ水少シ、人
 ノ氣力ヲ益ス故ニ此洲ノ人民ハ力量且膽氣尤多シ、
 身体モ亦尤モ高大ナリ、山東ノ高麗ノ兩處モ、人民モ
 亦タ是レ如此シ、亦タ三面ガ海ヲ距ツ故ナリ、亞非利
 加洲ハ東西ハ廣大ニシテ、ナイルカンクノ大河ニツアリ、
 故ニ近キ海ヨリ内ニ甚著シキ名ノ國土モナシ、
 地面ハ平ナラス高下アリ、若シ平ナルハ必ス江河
 水流ナクバ、雨後一ハ水瀦テ湖水ト成ラン、水ニ缺タ

ルノ區ハ、田畝ニ以テ灌漑ノ績ナシ、若シ山高ク相等
 キハ亦タ宜シカラザルアリ、雨後水ガ亦タ一時ニ流
 レ海ニ入ル、雨前ニハ水無シ、雨後ニ無キ故ニ地球高
 山等カラス、或ハ二百尺、或ハ三百尺、或ハ四百尺、或ハ
 三千尺、五千尺、二百尺ノ者ハ水竭キ、三百四百尺ノ者
 ハ之ニ續ギ、二千三千尺ノ者ハ水竭キ、三百四百尺ノ
 者ハ之ニ續ク、二千三千尺ノ者ハ水竭キ、五千尺ノ者
 之ニ續ク、但ニ是ノミナラス、尤モ綺ナル者アリ、地面
 上ガ八千尺ニ至レハ四時皆雪フル、其レノ高山ニハ
 亦恒ニ積雪アリ、五千尺ノ者水竭レ、雪ガ日ノ為ニ
 融テ水尚ツイテ流ル、是レ長江大河ノ淵サレ所以ナ

リ、惟、潤、ガ、ル、ニ、非、ス、災、夏、モ、水、ヲ、需、ル、ニ、甚、タ、多、シ、
 水、モ、亦、タ、漲、溢、ル、此、故、ニ、洋、子、江、ハ、每、歲、端、陽、ヨ、リ、後、ハ、
 日、ニ、漲、リ、流、ル、黃、河、松、花、江、ノ、二、流、モ、亦、タ、此、レ、ニ、係、ル、
 所、以、ニ、各、大、洲、ノ、内、ニ、高、山、幾、ツ、モ、ア、リ、夫、レ、地、面、若、ハ、
 平、ニ、ソ、高、山、十、ク、或、ハ、山、高、キ、一、同、ジ、ケ、レ、ハ、佳、景、ヨ、カ、
 ラ、ス、遊、玩、ス、ヘ、キ、ナ、ク、鳥、獸、モ、亦、タ、身、ヲ、藏、ス、礫、坑、モ、無、
 土、ノ、宜、キ、ヲ、論、ス、第、四、

地面、ノ、土、ニ、其、質、ノ、肥、磽、泥、火、鬆、緊、ノ、同、ジ、カ、ラ、ザ、ル、ア、
 リ、其、土、色、モ、則、チ、青、黃、赤、白、黑、ニ、種、々、ヲ、為、ス、故、ニ、其、產、
 物、ニ、合、フ、モ、亦、タ、異、レ、リ、或、ハ、穀、物、ニ、宜、ク、或、ハ、棉、ニ、宜、
 ク、或、ハ、果、蔬、草、木、ニ、宜、ク、其、草、木、亦、タ、各、ニ、宜、キ、ア、リ、テ、

花、欄、ト、鐵、欄、ト、ノ、如、キ、ハ、堅、緻、ニ、シ、テ、常、ニ、異、ナ、レ、リ、而、
 ヲ、割、折、甚、タ、易、シ、此、南、方、ニ、宜、ク、而、ノ、北、方、ニ、產、セ、ス、
 白、松、ハ、北、方、ニ、產、シ、テ、而、ノ、南、方、ニ、生、セ、ス、

石ヲ論ス

地、中、ノ、石、類、ハ、一、ナ、ラ、ス、異、ニ、ス、ル、所、ノ、珍、奇、石、類、ノ、其、
 地、中、ニ、在、ル、ハ、質、甚、タ、柔、カ、ナ、リ、地、面、ヲ、出、テ、空、氣、ヲ、受、
 ル、ハ、日、々、ニ、硬、ク、ナ、ル、山、東、ヨ、リ、一、硯、石、ヲ、出、ス、ニ、其、
 地、ニ、入、ル、ノ、深、キ、者、ノ、俱、ニ、柔、カ、ニ、シ、潤、ヒ、ア、リ、然、ル、ニ、
 地、面、ニ、近、キ、者、ハ、俱、一、硬、ク、ノ、燥、リ、亦、タ、其、據、ナ、リ、又、一、
 種、石、ニ、灰、石、ト、云、フ、ア、リ、用、ヲ、成、ス、一、ニ、非、ス、假、如、ハ、此、
 灰、石、十、ケ、レ、ハ、石、ノ、廣、ト、雖、モ、以、テ、室、ヲ、築、ク、一、ナ、シ、又、

五金ハ皆土ヨリ産スル処、外ニ復タ鉦アリ、若シ土産ニ此ヲ缺テハ凡テ金屬ヲ巧ニスルト雖モ、亦タ一器ヲ派成スル能ハス、地ヲ掘テ四下セハ如許ニ層次セリ、泥土ニハ水ヲ存スル能ハス、惟沙ニハ水ヲ存リ、故ニ井ヲ掘テ沙層ヲ見ル、如シ下ノ泥層ニ係ラハ即チ水ノ来ルヲ見シ、

山ヲ論ス 第五

山愈高ケレハ、其上愈冷シ、上ルニ三百五十尺ニ至テ、寒暑表ヲ以テ之ヲ測ラハ、寒ヲ増テ一度、地面上、此ニ行テ、二百里ト相同シ、上千尺ニ至テハ、五穀ヲ生スル能ハス、樹木ハ生セリ、再ビ上テハ大樹木ナシ、最

モ上ハ、凡テ物生セス餘ノ積雪ノミ、東半球ハ大嶺ハ東西ニ横列ス、極テ大ナル者ハ四アリ、南北ニ縦列スル者其小ナル者ナリ、亦タ多キヲ見ス、西半球ハ南北ニ縦列ス、東西ニ横列スル者其小ナル者ナリ、亦タ多キヲミス、之ヲ要スルニ、何レノ嶺ヲ問フナク、西面ハ各異ナリ、一ハ陡面ニ係リ、一ハ坡面ニ係ル、横列スル者、陡面ハ南ニ向キ、坡面ハ北ニ向ク、東半球ニ高山カ五千尺ヨリ、二十八千尺ニ至レリ、其極高ノ者ハ、赤道ノ北三十度ヨリ、三十五度ニ至レリ、北氷洋ヨリ此山ノ巔ニ至レハ、凡ソ八千里、此山巔ヨリ南ノ印度平原ニ至レハ、計ニ一千三百里、歐羅巴洲ノ極高

山ハ赤道ノ北四十七度ニ在リ、波羅的海ヨリ此山巔ニ至レハ計ニ一千五百里、此山巔ヨリ以大理ノ平原ニ至レハ、三百三十里、阿非利加ノ極高山ハ、赤道ノ南一度ニ在リ、地中海ヨリ此山巔ニ至レハ、計ニ十一千里、此山巔ヨリ南方平原ニ千里ニ至テハ、此其間ニ上帝ノ美意ガ茲ニ存ス、山巔ニハ俱ニ熱道アリ、北冰洋ヨリ南ニ向テ、漸熱漸高ニシテ、其中ニモ高下均ラスト雖モ、然レモ大略如此シ、故ニ人ハ暑ヲ患ヘスシテ生活スルニ足ル、物畜穀蔬モ亦タ皆資リテ、以テ長ク養フ、亞細亞高山ノ其坡面ハ、陡面ヨリ大ナル約ソ五倍五、假令ハ坡陡ハ南北位置カハルナリ、北方ハ地

氣水冷、山高ケレハ益冷、人必ス寒ヲ以テ死セン、南ニ向テ愈下ク、地氣本熱ス、地勢モ亦タ熱ス、人必ス暑ヲ以テ死セン、山ノ小ナル者坡陡モ亦タ兩面ナリ、上帝ノ地勢ヲ措置スルヲ人ヲ益スルニ非ル無目前ニ於テモ亦タ會悟スヘシ、南山ノ如ハ陡面ハ北ニ向ヒ、坡面ハ南ニ向ク、蓋シ朝陽廣闊ヲ以テ人ノ居止ニ便ナリ、亦タ穀果ヲモ増セリ、如シ南北ノ位置カワリシナラハ、人ハ寒ニ耐スシテ五穀果蔬モ亦タ繁茂シ難シ、遼海金復蓋五州ハ、高山モ陡ノ西北ニ係ノテ、而ソ坡ハ東南ニ於テシ、南風ガ醞釀ニシテ、雨露ガ長養シ、氣候溫和ナリ、故ニ其東南ノ諸地ニハ、產物稼穡甚々

鏡クシテ、而ノ又甘美ナリ、亞美利加ノ高山ハ、南北ニ
 縦列シテ俱ニ大洲アリ、西海ハ海ヲ距ツテ遠カラス、
 尤モ北亞美利加ハ、高山ノ巔ハ東ニ大西洋海ヲ去ル
 一、五千三百五十里、西ニ太平洋海ヲ去ル一、二千六百
 里、中亞美利加ノ極高山ノ巔ハ東ニ大西洋海ヲ去ル
 一、七千七百三十里、西ニ太平洋海ヲ去ル一、千里、南
 亞美利加、偏北ノ極高山ノ巔ハ、東ニ大西洋海ヲ去ル一
 六千一百里、西ニ太平洋海ヲ去ル一、二百三十三里、其偏
 南ノ極高山ノ巔ハ、東ニ大西洋海ヲ去ル一、五千三百五
 十里、西ニ太平洋海ヲ去ル一、六百七十里、其陡面ハ俱ニ
 西ニ其坡面ハ俱ニ東ニ向ク、毎日地面ガ早ヨリ暮ニ

至テ太陽ヲ迎ヘ受テ、其太陽ニ張養ノ力ヲ資ル一殊
 ニ多シ、又太陽上ニ外リ熱力漸ク増ス、地面ハ東ヨリ
 西ニシテ、勢ヒモ亦愈高シ、若シ陡坡ガ位置ヲカヘテ
 山巔ノ東ニ在ラハ、太陽ノ利益ヲ阻一ラ致サン、南亞
 美利加ハ、赤道ニ在テ甚々熱ス、山モ亦々最モ高ク、西
 洋海ヨ去ル一亦々甚シ、故ニ氣候ハ以テ温涼調劑ヲ
 得ル、又東半球ハ高次ノ平原甚々多シ、西半球ハ極長
 ノ山谷多シ、山ガ約ソ三分ノ一二居ル、谷ガ凡ソ三分
 ノ二十リ、故ニ西半球ハ國産甚々饒ナリ、而ソ禾稼モ
 亦々美シ、且ツ樹木ノ暢茂モ高大ナリ、尤モ地面ニ属
 シテ、罕ニ見ル此ニ、東半球ノ及サル処ナリ、此諸事

コ觀ルニ倘至聖至善ノ主宰ガ之ヲ措置スルニ非レハ、而モ能ク如是クセンヤ

空氣ヲ論ス 第六

人ノ氣中ニ在ルハ、魚ノ水中ニ在ルガ如シ、人上氣ヲ望シテ青天ト為スハ、魚ノ水ニ在テ仰望スル想ヒモ同シ、其天氣ノ清ル者、每百分中ニ、淡氣七十九分、養氣二十一分ナリ、其大概每千分ノ中ニ、淡氣七百八十八、養氣一百九十七、水氣十四、炭氣一トス然ルニ其厚薄同ジカラス、地上ヨリ十里上ニシテ、厚サ減ル一
半二十里餘ニシテハ、四分ノ一、三十里餘ニシテハ、分
ノ一、五十里餘ニシテハ、三十分ノ一ト、蓋シ地ニ近キ

一分ノ氣ハ、廣キ五十里ニ至ラハ、上散テ三十分ノ一ト、然ラハ百五十里上ニハ薄キノ極ナラン、或人云フ氣此ニ至テ止ムト、又或人云フ互ニ太陽ニ入ル一此説是ニ近シ空氣モ亦々分量アリ、每方寸ノ氣ニ約ソ重サ十二斤地面ヨリ上氣ノ尽テアリ、每人ニハ約ソ二千方寸ノ氣ヲ領ル、其下壓ノ力ヲ計レハ、二萬四千斤ナリ、何スレソ覺ヘザルソ、是人身ノ内ニモ亦此空氣ガ在リ、漲リ受ルニ、外漲壓ノ力ト適均スルニ、用テノ故ナリ

○氣ノ高大ナレハ風ヲ生スル一ヲ為ス、故ニ蓋シ氣ハ能ク水ヲ吸フ、氣ハ雲ト成リ、風ヨク雲ヲ推送リテ、

天旱スル處ニ雨ヲ降シテ、以テ萬物ヲ滋養ス、水尤モ
 海ニ舟楫ヲ浮ベテ、往來ニ便ナリ、風ニ非レハ行カス、
 赤道ノ以北ハ風恒ニ東北ニシテ、赤道ノ以南ハ風恒
 ニ東南ナリ、西洋人之ヲ貿易風ト謂テ、航海ニ於テ甚
 便ヲ為ス故ナリ、外ニ又常生ノ風ナリ、中國ノ如キハ、
 冬日ハ風恒ニ東北ニシテ、夏日常ニ東南ヨリス、城鎮
 ノ市廛ニ至テハ惡臭ガ人ニ逼ルニ、風能ク之ヲ散ス、
 人ガ病ニ染ス、諸ノ如此用ハ、未タ悉ク數ヘ易カラス、
 ○氣ノ高大ハ、亦タ能ク太陽ノ火力ヲシテ、氣ニ隨テ
 四方ニ散ラシテ、直ニ入ル能ハザラシム、若シ氣ガ如
 此ナラズハ、恐ク大陽ノ烘カガ人ヲ害スルニ足ル、又

氣ノ多ナルモ、亦タ地ヲソ暖カナラシム、若シ氣ガ如
 此ク多カラザレハ地ガ必ス冷ニ過テ、人ハ生キ易ラ
 ス、假令ハ人が高山ニ登ルニ愈上レハ愈冷ル、其高山
 積雪モ亦タ久ク融ズ、此確據ナリ、氣ヤ、入ラザル無
 シ、魚族ハ皆酸素ヲ食リ、如シ空氣ガ入ル能ハザレバ、
 鱗族ハ生ズ、草木土石モ亦タ皆空氣ヲ資テ以テ養ハ
 ル、則チ亦タ皆空氣ノ能ク入ル所ナリ、
 ○氣ノ配合ハ、更ニ妙奧トナル、假如ハ空氣カ略稠厚
 ナルハ、人ノ呼吸モ微難クナリ、肺病ヲ患フルニ足
 ル、亦タ心臟ノ動脈靜脈甚ダ緩トレハ、血行モ流通ス
 ル能ハスシテ、身体必ス死セン、又假如ハ空氣ガ再ビ

淡薄トトレバ、心臓ノ動脈静脈ガ必ス速ク血行モ亦
 タ速クナリ、身体發熱シ則チ死セン、假令ハ空氣中ニ
 酸素ガ若シ幾カ多ヒナラバ、人ト動物トノ心臓ノ動
 脈静脈ガ必ス甚タ促數ニシテ、皆能ク生ルナシ、假
 令ハ酸素三十室素七十ノ和量ナレハ石ハ必ス粉碎
 シテ室ヲ築ク一能ハス、草木ノ葉皆萎マン、凡テ
 ハ皆鏽ン、凡テ血氣アル者皆祇ニ酸素アル如キハ、一
 様ノ世界人物ト、凡テ土、木、金、石、等ノ形アル、諸類ハ皆
 要ス火灼セン、室素炭素モ均シ人ヲ毒シ物ヲ毒スル
 ニ足ル若シハ三分ヲ増ハ人物俱ニ毒ヲ受テ死セ
 ン、再ヒ如シ酸素室素ニ顏色アル如クナラバ、空氣モ

亦タ必ス色アラバ、則チ水ハ質ヲ成サズ、菜蔬ニ水多
 ケレハ熟ヲ成ス一能ハズ、人食スル一能ハズ、凡ソ血
 氣アル者ノ血ハ、皆亦血ト成ラス、肌膚ハ生スル一能
 ハス、再ビ如シ空氣ニ倘シ氣味アラハ、人蓄モ亦タ必
 皆死セン、人モ動物モ酸素ヲ吸フテ肺ニ入レ、飲食精
 液ト合テ血ニ入レテ、以テ骨肉ヲ成ス、其宜カラザル
 モノハ呼吸ニ隨テ之ヲ出ス、即チ炭氣トス、此炭氣ハ
 毒甚シ、亦タ多キト甚ケレハ、人モ動物モ何ゾ堪ン上
 帝ハ草木ヲシテ之ヲ吸シム、蓋シ草木ニハ最モ炭氣
 ヲ宜シトス、此ニ非スンバ質ヲ成ス一無シ、草木ハ炭
 氣ヲ吸テ復タ酸素ヲ吐テ、以テ人ヲ資ル、彼ト此ト、互

ニ循環シテ、互ニ相ヒ益ヲナス、炭素ハ最モ重ク、酸素
 略軽シ、窒素ハ又輕シ、水素ハ極メテ輕ク、假令ハ空氣
 中ニ最モ下ルハ炭素ナリ、其次ニ酸素ナリ、其次ハ窒
 素ナリ、最モ上ハ水素ナリ、人最モ下ニ居ラバ必ス毒
 ヲ受テ死シ、上帝ハ能ク四元素ヲシテ、彼ト此ト呼吸
 シテ上下勻配スル、一ノ確証アリ、人ガ終夜ハ戸ヲ閉
 テ炭素ハ定テ多ラン、一ビ戸ヲ啓クキハ炭素ハ即チ
 出テ、酸素ハ即チ入ルニ、風ノ来ルヲ待タズ、又空氣ノ
 諸原質ガ分テ許多ノ流質ハ、其質極小ニシテ、凡テ聲
 音アルハ、皆流質ノ遞ニ傳ヘルニ由ル、若シ遙ニ鎗砲
 ヲ聞クニ、必ス先ツ其烟ヲ觀ル、响ノ烟ニ後タルニ非

ズナリ、其經過相去ノ地ニ由バナリ、必ス此响ヲ送ル
 者アラシトヲ知ルベシ、設シ空氣略厚クナレハ流質
 ハ擁擠シテ、聲音ハ阻ヲ受レハ、其来ルヤ必ス遲シ、設
 シ空氣ガ再ヒ薄キ流質太々疎クシテ、聲音ヲ遞ニ傳
 フ能ハス、諸妙ヲ合歡スレハ、造物主ノ民ヲ愛スルノ
 至意ニ非ズト謂ハンヤ

水ヲ論ス第七

水ノ清ルモノハ乃チ一分ノ水素ニ、八分ノ酸素ト合
 成ス、其大概江河湖海泉源ノ如キ、統テ之ヲ計ルニ内
 ニ亦々兼ヌル餘質ノ幾分アラン、孟子云、民ハ水火ニ
 非ズンハ生活セズ、水ノ關スル所重シ大ナリ、沐浴飲

饌茶湯酒醴陶人ノ博植文人ノ楮墨皆水ノ功ハ居多
 ナリ、殊ニ此ノミナラズ、人ト動物ト體質ヲ統テ之ヲ
 計ルニ、水ハ四分ノ三ニ居ル、地面ノ水ハ亦々約ソ四
 分ノ三ニ居ル、中國ノ俗語ニ地ヲ論シテ亦云フ、三山
 六水、一分田ト尤モ奇ナルモノハ、水若シ味アリテ、或
 ハ酒ニ類シ、或ハ醴ニ類シ、或ハ藥ニ類セバ、人飲ムト
 能ハジ、或ハ烹テ茶トナシ、或ハ釀シテ酒ト為スモ、其
 茶ト酒トノ甘旨モ、嘗テ試ムヘキナシ、又其或ハ色ア
 ルキハ、善カ毒カモ辨スルナシ、人ヲ傷ルト致シ易シ、
 其或ハ加濃ナラバ、微ニ入ル無キ能ハザレハ、草木土
 石モ資テ生成堅緻スル能ハス、其釀シテ氣トナリ、亦

復々艱澀ナラバ、火輪舟車ト凡テ火輪機器モ皆用ヒ
 易カラス、上帝ノ水ヲ造ルモ皆此弊ナシ、思ノ何ソ溥
 ナラン歟

○海ニ就テ而シテ論セシ、海底ノ地勢高下齊シカラ
 ス、略陸地ト同シ、其深淺約ソ十二里ヨリ十五里ニ至
 テ等カラス、假如ハ海面ノ水勢增高半里許ナラバ、恐
 ク、世界只餘シノ高山ノミナラン、水ノ高サ五里許ナ
 ルキハ、陸地ハ水中ニ没セシ、人類ハ皆居住ノ所ナカ
 ラシ、假令ハ洋海ガ或ハ再ビ減小セハ、其蒸氣ハ必ス
 少クシテ、雨露モ亦少ク、百穀蔬草モ實ラズ、人ガ菜
 早ニ苦マシ、又洋水ハ質鹹ナリ、若シ鹹ニ非ルキハ、以

持久スルナク萍生シテ味臭クシテ人ハ病ヲ患ヒ易シ、且ツ鹹ハ凍ラス、凍ラザレハスナハチ永久シテ變セザルベシ、其ノ尤トモ奧妙ナルモノハ上帝ナリ、日月ヲシテ海水ヲ呼吸セシメ、モツテ潮汛漲落ノ勢ヲ成ス、日月同度ニ當テハ力ヲ合セテ吸引ス、或ハ日月相對スレハ、合力吸引シテ能ク水ヲシテ高カラシメテ、潮必ス大ナラシ、若シ日月相距ツテ九十度ナルキハ、力分テ而シテ潮小ナリ、故ニ朔望ハ潮大ナリ、兩弦ハ、潮小ナリ、潮汛ク極大ハ利益ナリ、則チ漲リテ河口ニ入りテ、舟楫ヲ通スベシ、尤モ希奇ナル者ハ、洋海中モ亦タ河流アリ、其最要ナル者ハ、大西洋海中ニ大江

一條アリ、中土ノ洋子江ノ如キハ略同シ、其源ハ赤道ニ發リ、多ク太陽ノ熱ヲ受テ、而シテ熱ヲ成ス、西ハ墨西哥ニ流テ又東北ハ英ノ西海ニ入テ、而シテ北シ而シテ東ス、又西南ニ廻リ流ル、歐羅巴及ヒ英國ノ西海濱ニ附テ行ク、乃チ英國ノ賴テ以テ存スル所ノモノナリ、如シ此江ノ暖ニシテ、地面ヲ和煦スルナキハ、地ハ必ス嚴寒ニノ幾ド氷海ニ類セン、中國ノ都城ハ赤道ノ北四十度ニアリ、英國ハ赤道ノ北五十一乃至六十度ニアリ、中國都城ノ冷ヲ以テ之ニ較レハ、英國ハ此熱江ノ尤モ寒ヲ為スナキヲ知レリ、太平洋モ復タ一河アリ、中土ヲ距ツテ遠カラス、亦タ其源ヲ赤道ニ發

ス、其水モ亦タ温ナリ、台湾ノ東ヨリ東北ニ流レ、琉球
 國ヲ過テ日本國ノ東洋ニ至ル、復ビ東北ニシテ流ル、
 此モ亦タ大ニ日本ニ於テ頼アリ、夫日本ハ緯度中國
 ノ北ニアリ、其地氣ヲ中國ノ北土ニ較ブレハ、亦タ暖
 ナリ、其要ナル者ハ冬日ハ、風恒ニ東北ニシテ、西南ニ
 舟楫ハ甚タ阻礙セララル、頼テ此河アリテ、船ニ迎ヒ、風
 ニ隨テ前ニ往ク、亦タ日ニ百里ヲ行クベシ、此ヨリ外
 洋海ノ河流甚タ多シ、茲ニ具ニ述ズ、皆他書ニ於テ之
 ヲ考フベシ、又陸地ノ河ニ至テハ、幾ド徧ク輿地ニ大
 アリ小アリ、其流ニ遲キアリ速キアリ、其利益タルヤ
 人ノ飲食沐浴ニ供ヘ、田園ニ灌溉シ、城市村落諸凡ノ

汚穢ハ、水ニ頼テ洗濯ヲ為シ、以テ水磨、工匠、造作、紡織
 ノ諸機器等ハ、皆カノ水ヲ以テ、入ノ力ニ代ルニ足ル、
 ○宇内ノ萬物、体質ハ、大凡冷ニ遇ヘハ縮小シ、熱ニ遇
 テハ漲大ス、其縮ムヤ微重ク、其張ルヤ微輕シ、寒ヲ經
 ル片ハ、拘ク暖ヲ受ル片ハ伸ルモ、亦タ其據ナリ、惟水
 ハ獨異ナリ、寒極テ而ソ漲リ、而ソ大ナリ、瓶ノ水ノ凍
 甚シキハ、瓶必ス氷ノ為ニ漲裂ル、池ノ水ニ凍テ甚シ
 ケレハ、中必ス突起ス、禮ニ所謂水澤腹堅キ者是ナリ、
 其分量ハ亦タ微輕シ、故ニ水ニ浮テ沈マス、假令ハ水
 凍テ、而ソ縮ミ而ソ小ク、而ソ重クセハ必ス下リ沈ミ
 テ底ニ至ラン、毎夜一層ヲ增加セバ日ニ復ビ増加セ

湖海江河モ皆填塞シテ、平原ノ如クシテ、炎夏ト雖
 モ燭化スル一能ハズ、世宙萬物ハ必ス冷ヲ以テ死セ
 ン、至レル哉上帝ハ多ク方ニ人ニ益セラル他物皆煩
 ニシテ之ヲ成シ玉フ、惟水ニ於テ則チ反テ如此シテ
 以テ世ノ人ヲ利シ玉フ、
 ○地面ニ雨アルルルノ河水アリ、水流ハ洋ニ入
 ル、常ニ帶ブ動植ノ諸質アリテ、融テハ渣滓ト為リ、成
 リテハ鹽質トナリ、陸地ニハ湖アリ、若シ河流ノ為ニ
 出入スルルルハ、其水流ク淡シ、若シ泉流ヲ匯テ之ニ
 ルルハ、其水亦タ鹹ユシ、煮テハ鹽トスベシ、故ニ遠海
 ノ諸區ニ、上帝ハ皆置クニ大湖アリテ、專ラ河流ヲ納

積テ鹽質ト成リ、以テ民生ヲ資ク、亞細亞、非利加、亞
 美利加、諸大洲ノ如キ中間ニ倘シ大湖ナキルハ、鹽ハ
 由テ出ルナクバ、人ノ飲食ハ調ヲ失セン、人其地ニ居
 ル一能ハス、盡ク廢土トナラン、且ツ人が但ニ淡水鹹
 水ヲ用ルルノミナラズ、上帝ハ更ニ地ヲメ温泉ヲ出サ
 令ルニ、或ハ温或ハ熱、或ハ沸ク内俱ニ許多ノ藥質ア
 リ、其大概硫黃質居多ク、皆以テ人ノ沐浴ニ供ヘ、人ノ
 体疾ヲ醫ス、上帝ハ人ヲ愛スルノ至ニ非スト謂ニ足ヤ、
 ○水素、酸素ノ二個ハ、皆能ク火ヲ燃ス、一樂ト油ニ類
 ス、其合テ水トナラバ、性が即チ頻ニ反ヘル、萬モ能ク
 燃ル理ナシ、前ニ空氣ヲ論ジテ曰、祇ニ一ノ酸氣ナラ

世界所有ノ物ハ皆要ズ火ニ灼シ、假如上帝が將
 ニ水素、酸素、水ヲ以テ、分開テ江河湖海ヲ皆類シテ
 油ト為シ、世界ノ即チ登時ニ火ニテ灼シ、故ニ新約書
 ニ云ル「アリ、世界末日ニ上帝が一言ヲ出シ火ニテ
 焚シム、當ニ則チ如此シ、」

皮相ヲ論ス第八

凡ソ血氣アル物其大概分テ四屬トセン、曰ク羽屬曰
 ク毛屬、曰ク鱗屬、曰ク介屬、其各屬ニ、又各異アリ、羽
 ノ屬ノ如キハ、鷄ト鶩ト異ナリ、毛ノ屬ハ羊ト牛ト異
 ナリ、豕ト犬ト猫ト異ナリ、而シテ蝸ト尤モ異ナリ、鱗
 ノ屬ハ鯉ト鱒ト異ナリ、介ノ屬ハ龜ト蚌ト異ナリ

リ其各屬ノ皮相ニ各意義アリ、各土各体ト合宜ヲ為
 ス、彼ト此ト移シ置ヘカラス、設シ牛羊ノ毛ヲ犬豕ニ
 移シ、犬豕ノ毛ヲ雞鶩ニ移シ、雞鶩ノ羽ヲ鯉鱒ニ移シ、
 鯉鱒ノ鱗ヲ蚌蛤ニ移シ、再ニ蚌蛤ノ殼ヲ以テ、鯉鱒ニ
 移シ、鯉鱒ノ鱗ヲ雞鶩ニ移シ、雞鶩ノ羽ヲ牛羊犬豕ニ
 移シ、其俱ニ能ク生ルヤ、倘シ聰明ノ主宰ガ恒ニ之
 ガ主理ヲトス、トナクハ、吾知シ其必ス慎アラン、惟人
 ノ皮相ハ獨異ナリ、内亦タ意義アリテ、其以テ衣ルベ
 キヲ為スナリ、其寒帶ニ在ル者ニハ之ヲ増シ、其熱帶
 ニ在ル者ニハ之ヲ減ス、倘シ人ニ羽毛ヲ生セバ、必ス
 熱地ニ宜シカラズ、此ヲ為ス故ニ地ノ冷熱時ノ寒暑

ヲ問^トナク、惟^モ吾人ハ合^カ宜^イナラザルハナシ、羽^ウ毛^モ鱗^{リン}ハ
ノ屬^レハ、惟^モ体^テヲ飾^シルノミナラズ、亦^モ々^々体^テヲ護^ルル刺^シ鱗^ハ魚^ノ
龍^{リウ}飛^{ヘイ}禽^{イン}等^トノ如^クキ、盛^{セウ}甲^{カウ}ヲ披^フル如^クキ、兵^{ヘイ}刀^{カウ}ヲ持^テル如^クシ、亦^モ
獸^ノノ實^ニ鎧^{カウ}甲^{カウ}ヲ披^フル一^ツ兵^{ヘイ}將^{カウ}ノ如^クキ者^{アリ}アリ、西^{サイ}人^ノ名^ナテ
阿^ア馬^マ底^{テイ}羅^ラト云^フ、狀^{カウ}豕^シニ類^シテ細^{サイ}毛^モナシ、其^ノ毛^モタル者
堅^{ケン}硬^{コウ}シテ龜^{カウ}甲^{カウ}ノ如^クシ、節^{セツ}ヲ逐^ズテ分^{ワケ}披^ヒテ、人^ノ鎧^{カウ}甲^{カウ}ノ
活^{カツ}轉^{テン}テ体^テニ適^{カフ}フ如^クシ、其^ノ首^{カウ}尾^ビアル者^ハ、圓^{エン}クシテ小^{コウ}ク
幾^{カウ}ト魚^{イフ}鱗^{リン}ニ類^シス、脊^{セキ}アル者^ハ、略^{カウ}大^{ダイ}ニシテ方^{カウ}アリ、皆^{カウ}以^テ
テ自^ジラヲ衛^{マモ}ルニ足^ルル、又^モ箭^{ケン}猪^シアリ、長^{カウ}牙^ヤ利^リ爪^{カウ}ナシ、亦^モタ
善^{ケン}ク走^{ソウ}ラズ、上^{カウ}帝^{テイ}ガ予^{コト}ルニ絶^{ゼツ}妙^{カウ}体^テヲ衛^{マモ}ルノ毛^モヲ以^テ
ス、其^ノ毛^モハ箭^{ケン}ノ如^ク、首^{カウ}及^ヒ後^{カウ}身^シ九^{カウ}モ長^{カウ}シ、倘^{モト}シ何^{カウ}レノ

惡^{アツ}キ物^{モノ}ガ前^{マヘ}ニ當^マルニ遇^アフハ、全^{ケン}体^テヲ掉^{カウ}轉^{テン}テ首^{カウ}ト足^{ソク}ヲ
地^チニ伏^{フツ}セテ、毛^{カウ}箭^{ケン}ハ四^シ圍^イニ張^ハリ護^{カウ}リ、振^{カウ}々^{カウ}ト聲^{カウ}アリ時^{トキ}
ニ或^アハ一^{イツ}毛^{カウ}箭^{ケン}ヲ出^デシ、其^ノ物^{モノ}ヲ傷^{カウ}ヒ斃^{カウ}ス、惡^{アツ}物^{モノ}ノ為^ニ或^ア
ハ其^ノ毛^{カウ}箭^{ケン}ヲ齧^{カウ}ハ、其^ノ断^{カウ}鋒^{カウ}ガ直^{カウ}ニ内^ナ腹^{ハク}ニ入^レレハ、復^{マカ}能^{カウ}ク
出^デス、尤^{モト}モ其^ノ毛^{カウ}ノ管^{カウ}内^ナ空^{カラ}ニシテ、質^{カウ}甚^{カウ}タ堅^{カウ}ク色^{シキ}間^マ黒^{カウ}白^{ハク}
シ、西^{サイ}人^ノ常^{カウ}ニ用^{カウ}ヒテ、以^テ筆^{カウ}ニ代^{カウ}テ、字^{カウ}ヲ書^{カウ}ク、亦^モタ用^{カウ}テ
以^テ画^{カウ}キ、亦^モタ用^{カウ}テ編^{カウ}籃^{カウ}技^{カウ}籐^{カウ}ニ作^{カウ}ル、實^{カウ}ニ美^{カウ}觀^{カウ}トフ、單^{カウ}
ノ中^{ナカ}ニ最^{カウ}モ異^{カウ}ナル者^{アリ}ヲ斃^{カウ}鼠^{カウ}ト云^フ、常^{カウ}ニ地^チ中^{ナカ}ニ居^{カウ}リ
地^チ中^{ナカ}ヨリ穴^{カウ}道^{カウ}ヲ通^{カウ}テ行^{カウ}ク、其^ノ穴^{カウ}道^{カウ}ノ面^{オモテ}高^{カウ}ク、一^{イツ}線^{セン}ヲ起^{カウ}
シ、曲^{カウ}折^{セツ}シテ、蚓^{カウ}ノ行^{カウ}跡^{カウ}ノ如^クシ、内^{ナカ}ニ其^ノ居^{カウ}リ止^{カウ}ル處^{カウ}アリ、
則^{スレバ}多^{カウ}ク一^{イツ}突^{カウ}ス、鼠^{カウ}ノ形^{カウ}狀^{カウ}希^{カウ}奇^{カウ}ハ、具^{カウ}ニ論^{カウ}セス、其^ノ穴^{カウ}ヲ穿^{カウ}

各物深原釋

卷之

五 女是堂成反

子前ニ行クニ、倘シ石或ハ犬猫等ニ遇ハハ、身ヲ回シ
 ト欲シテ、穴細クメ、掉轉スベキ無キ、倒ニ退クベキニ、
 若シ其毛が後ニ向テ生セバ、退キ行ク片ハ、其毛ヲ
 逆ニナレハ、是レ宜シカラス、若シ其毛が前ニ向テ生
 セハ、前ニ行ク片ハ、其毛ヲ逆ニスモ、亦タ宜シカラ
 ス、故ニ其毛が上ニ向テ直ナリ、或ハ進ミ、或ハ退クニ
 エ均ク宜シカラザルナシ、且ツ居ニ泥塗ニ在レハ、多
 ク濕リテ冷ナリ、若シ其毛が犬ト同フセハ、寒濕モ禁
 シ難シ、乃チ其毛ハ厚ク、極細ノ毳毛ノ如キハ、亦タ油
 多シ故ニ寒ヲ畏レス、亦タ水ニ利アリ皮亦タ甚タ堅
 シ、刀ヲ入り易カラス、石ニ傷レ易カラス、此物頗ル需

ル用キアリ、其穴地ノ為ニハ土脈ヲシテ鬆活セシメ
 テ、空氣ヲ收入シ、以テ長養ヲ資ク、殆ト生成ノ未結ナ
 リ、獸ノ類猫ノ如キ虎ノ如キハ、又皆鬚アリ、其鬚ニ能
 ク知覺アリ、尤モ善用キアリ、虎猫等ハ善ク穴ヲ探チ、
 生物ヲ捉ルルヲ為ス、若シ穴小ニシテ強テ入テ、或ハ
 復タ出ルル能ハズ必ス之ガ死ヲ致サシ、故ニ其左右
 ノ鬚ハ闊キト身ト等シ、一穴ニ遇フ毎ニ、先ツ鬚ヲ以
 テ其廣狹ヲ試ミテ、而メ后ニ慮リナシ、澳大利亞洲ニ
 野獸三兩アリ、又奇異ヲ為ス最モ大ナル者ハ、剛葛鹿
 ト名ク、四足ニメ前ハ短ク後ハ長シ、平ニ行クト能ハ
 ス、恒ニ跳躍テ草葉ヲ食テ山猫ト等シ、其牡ナル者ハ

身體較大ナリ、首ヨリ尾ノ末ニ至テ、長サ約ツ七尺、重
 約ソ二百斤、此ナルモノ子ヲ生シ、産期極テ促ス、子ヲ
 初メ生ル時、甚々軟弱運動スル能ハス、凡テノ畜ノ子
 ト大ニ異ナリ、乃チ其母ノ腹ニテ、外ニ一塊ヲ生シ、其
 子生テ即チ塊ノ内ニ置キ、稍長シテ或ハ塊ヲ出デ、或
 ハ塊ニ入り、各其意ニ適ス、其餘一二亦タ此ニ類ス、凡
 ソ畜孺ハ上帝其煖ナラ令ント欲セハ、又皆其皮膚ノ
 内ニ脂ヲ生シ、脂ハ内ノ煖氣ヲ護リ、外ニ出デザラ令
 ル所以ナリ、極北ノ畜ハ脂亦タ愈厚シ故ニ熊貂鼠ノ
 胡北ニ出ソリ、熊貂等、其脂最モ厚シ皆極北ノ産スル
 所ナリ、尤モ奇ナル者ハ、羽毛ノ孺ハ夏ハ脱キ秋ハ生

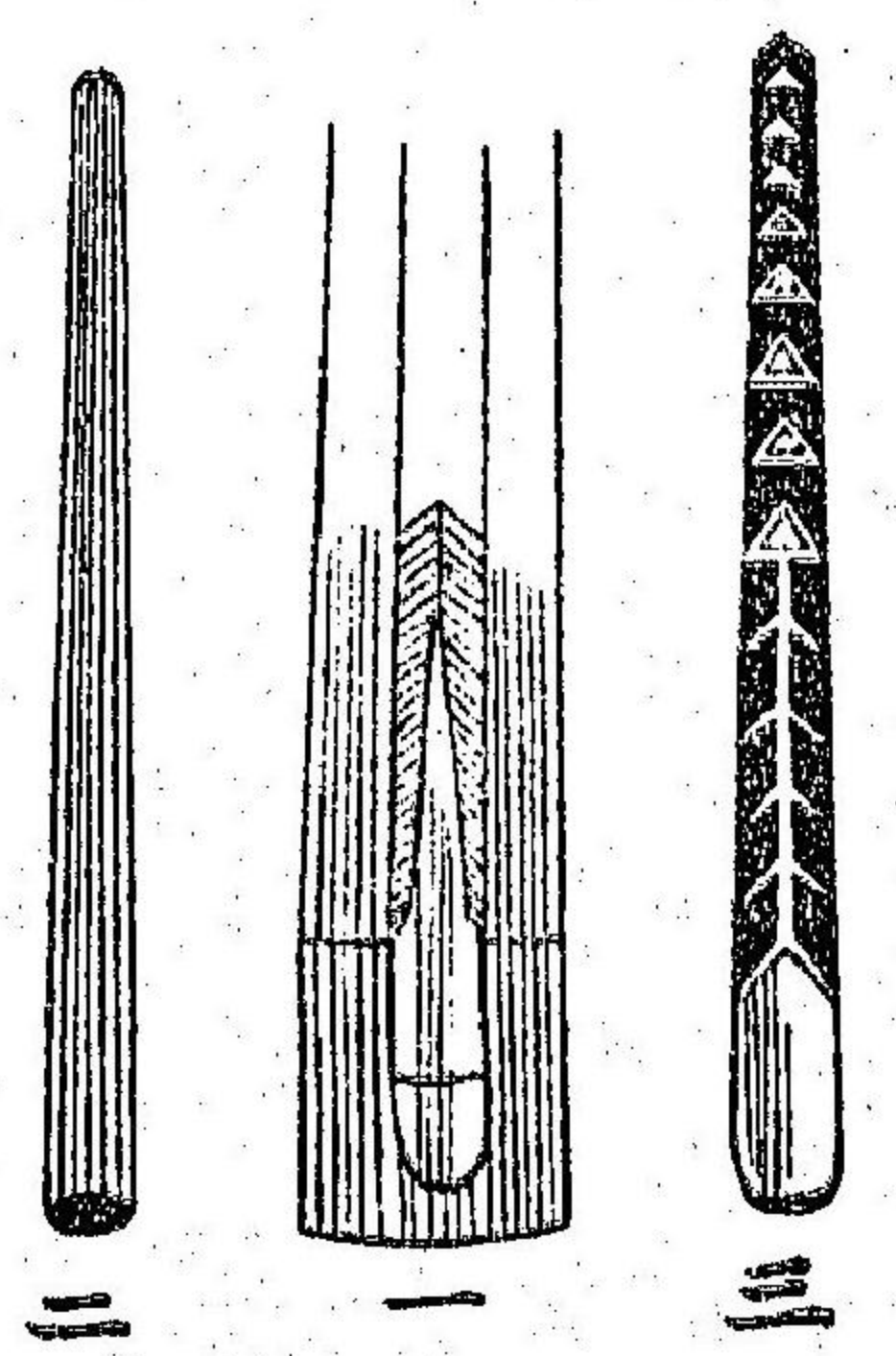
シ、冬ハ更ニ毛アリ、動物ハ衣ルヲ能ハズ、亦タ衣ヲ
 需ズ、或ハ毛脱ケ、或ハ毛生スルハ、亦タ衣ノ時ニ隨テ
 増シ減リ、ノ如ク然リ、又衣ノ更リ一襲スル如ク、一莖
 ノ羽毛毎ニ、又創造ノ希奇ハ花草永麥ノ挺生スルト
 迥ニ異ナリ、其皮膚ノ内ニ孔穴アリ、天生ノ摸範ノ如
 ク小大形式一成シ易カラス、中ニ羽毛アリ、朕兆ノ初
 生ニメ其孔穴ニ彌リ是ヲ網管ト為ス、管底ニ孔アリ
 血ヲ吸テ、以テ羽毛ヲ資ケ養フ其管先ニ生スルハ筒
 ノ如シ、再ヒ長シ漸ク壯ニ血皆管ニ満チ、及ヒ羽毛ト
 成ル管ノ底ニ孔開キ、血亦タ枯乾スレハ、之ヲ朕視ス
 レハ、枝幹アルガ如シ、此レ其事凡ソ三ツノ異ルアリ、

一ハ模範ト為ス一ハ鎔金ノ如シ一ハ發生セシム況
 ヤ一禽ノ羽毛齊シカラス或ハ厚ク或ハ薄ク或ハ短
 カク或ハ長ク其用殊ニ異ナリ其色更ニ相間テ又
 成ス尙シ智巧ヲ具極スル擬議スベキナキノ主宰ア
 リテ預メ經營スルニ非スンバ安ゾ能ク此レ有シ又
 毛屬ノ毛ガ水ニ入ザル者ハ脊ニ多ク腹ニ少シ狐狼
 山貓等ノ如キ是ナリ水ニ入ル者ハ腹ニ多ク脊ニ少
 シ海虎水獺海螺等是ナリ水ニ入ル禽ハ羽管ノ下
 ニ皆毳毛アリ水鴨等ノ如キ是ナリ水ニ入ザル者之
 ナシ水禽ノ小ナル者其毳毛色黒シ蓋シ色ノ能ク寒
 ヲ禦ガ者惟黒キヲ最上トス其大ナル者黒キニ非ス

其血氣ノ力足ルガ為ナリ大抵禽獸ノ毛色ハ皆産ム
 所ノ土地ト相宜シ其大ナル者ノ獸ハ虎豹ノ如シ禽
 ハ鷹鷂ノ如キハ土色ニ合ハザルアリ其力自ラ護ル
 ニ足ル為メ其小ナル者ニ至テ山貓等ノ如キ百齡鶴
 鷄等ハ其産ム所ノ土色ト綿毫毛爽ス蓋シ人ヲシテ
 目ニ迷ハシメ並ニ凶惡ノ禽獸ヲシテ目ニ迷シメテ
 而メ之ガ保護ヲ為スナリ此又豈ニ上帝ノ美意ニ非
 ランヤ假如ハ人アリテ一ノ飛禽皮毛ヲ作り成サン
 ト欲セハ甚々易キ事ニ非ズ其緊要ヲナス者ニ五ツ
 アリ其一ハ輕ランヲ欲シ其二ハ堅固ヲ欲シ其三ハ
 粘連ヲ欲シ其四ハ水ニ利キヲ欲シ其五ハ暖カラ欲

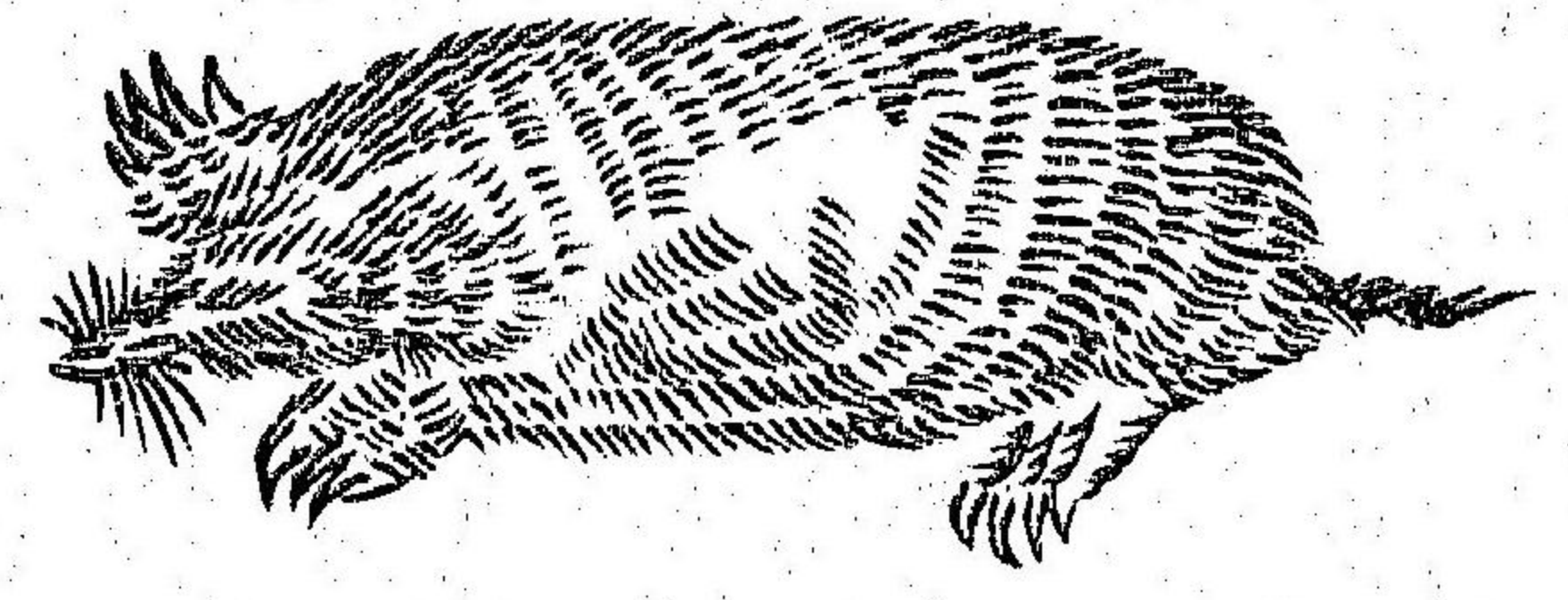
シ、輕キキハ堅固ナル能ハズ、堅固ナルキハ必ズ重シ、
 粘連ナラサレバ、水ニ利スル能ハズ、亦タ爇カナラズ、
 試ニ即チ一羽毛モ之ヲ驗ルニ甚タ悉ク其翎管ノ下
 皆空シ、空キ故ニ輕シ、又甚タ堅シ、其上空ニ非ザレハ、
 亦タ輕ク亦タ堅ク、毛甚タ粘連ニシテ撥テ之ヲ開キ、
 仍復タ合フガ如シ、惟如此キノミナラス、亦タ門縫ハ
 木板ノ簧縫アルガ如ク然リ、亦タ相換シ壓ヘテ瓦櫃
 ヲ布クガ如シ、故ニ雨モ入ル能ハス、以テ水ヲ利スベ
 シ、以テ寒ヲ禦グベシ、其翅ノ外ニ長キ翎アリテ、高ク
 飛ニ便ナリ、舟ヲ挽クノ棹ノ如ク、尾ニ長キ翎アリテ
 掉キ轉ルニ便ナルハ、小舟ノ尾棹ガ亦タ舵ノ用ヲ兼

テ以テ舟ヲシテ旋轉セシムベキガ如シ、倘シ一ノ無
 限聰明ノ主宰アリテ、預メ籌畫ヲ為スニ非スンバ、其
 能ク此レ有ンヤ、假令バ人アリテ一ノ野雞ノ羽毛ヲ
 將テ、盡ク技出シテ、人ヲシテ再ビ披上ヲ為シトス、其
 能ク位置妥當ニシテ、其顏色相ヒ宜シタミテ、本来ノ
 生成セシムル者カ否ナ、吾其必ス能ハザルヲ知ルナ
 リ、此レ其事ノ小ナル者サヘ尚能ハズ、况ヤ其大ナル
 モノヲヤ、

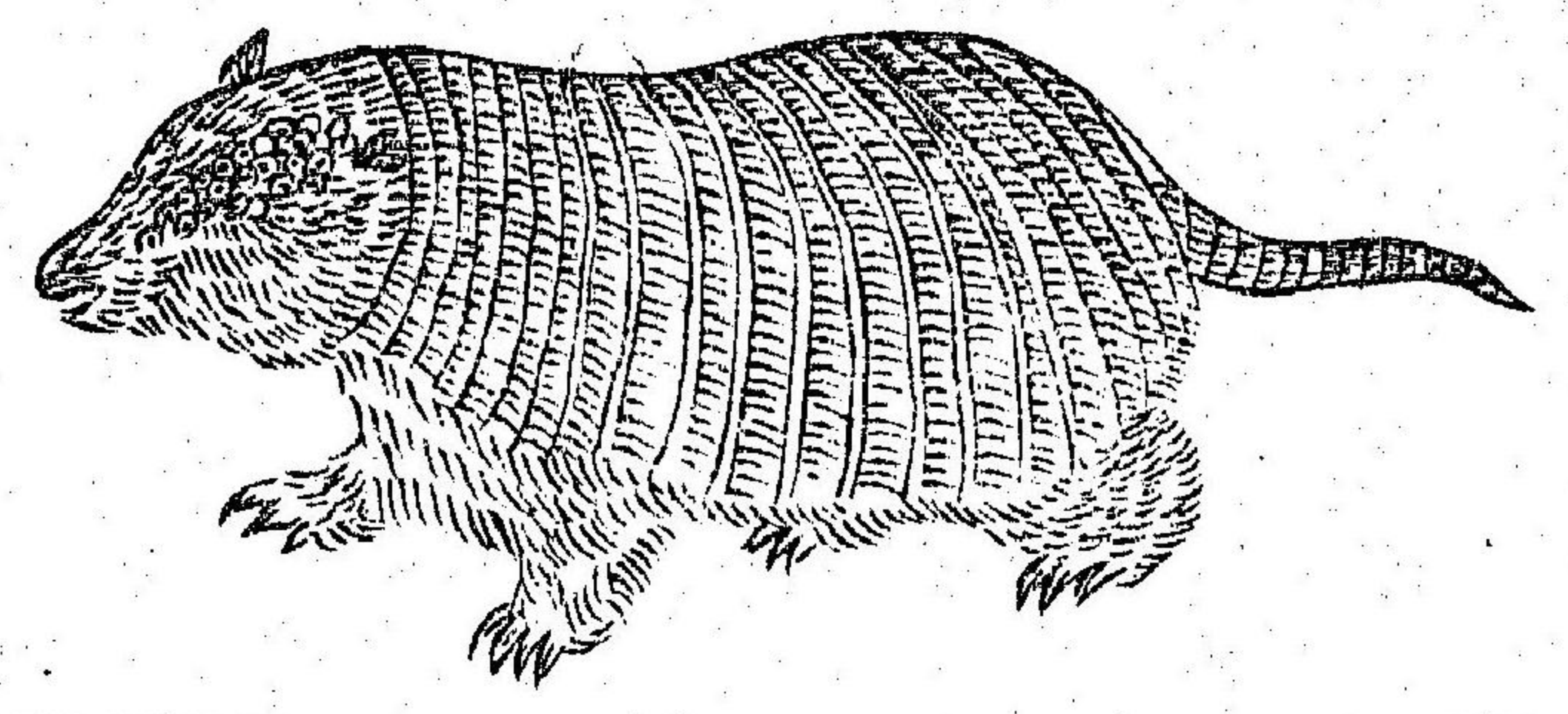


管 毛

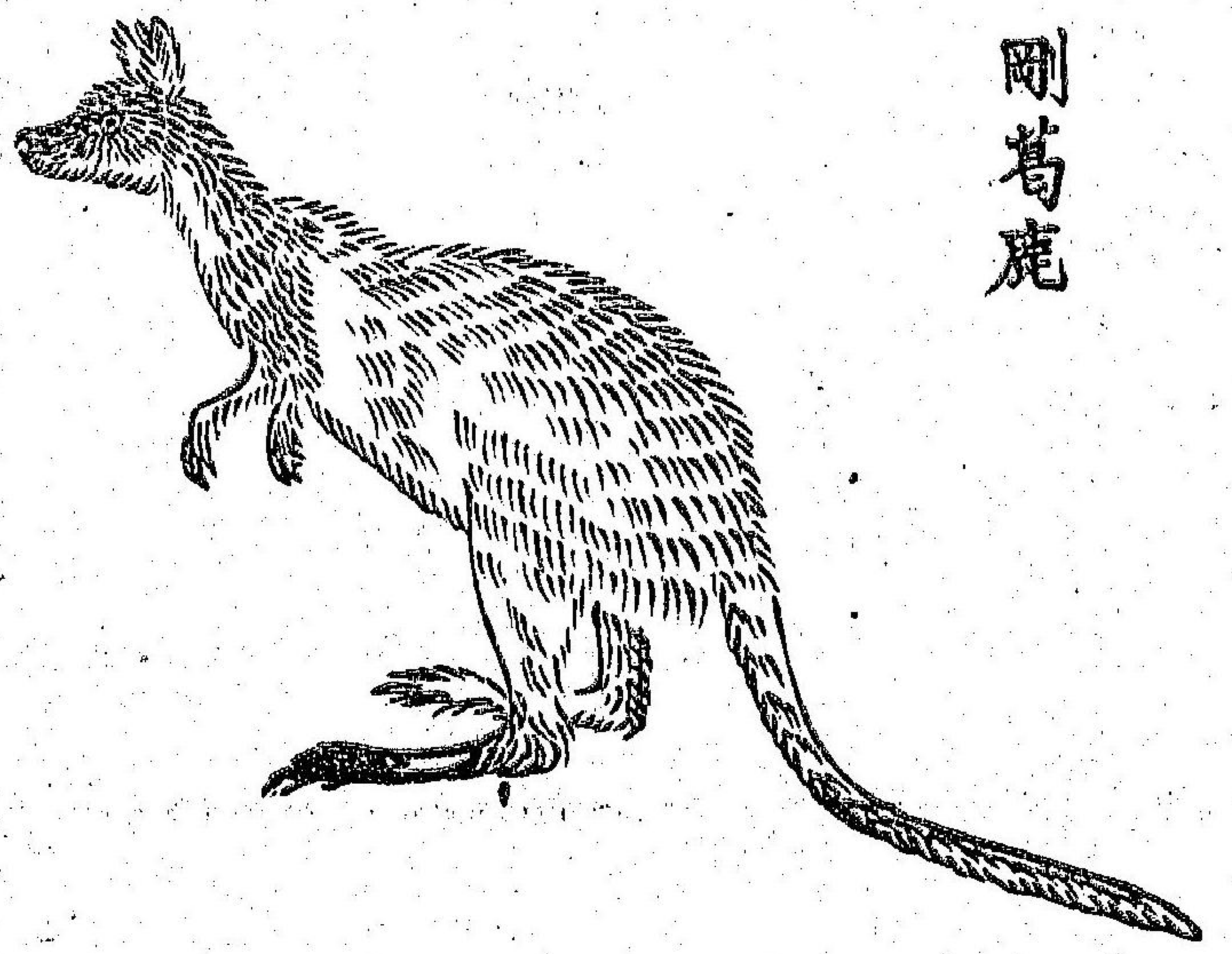
鹿 鬣



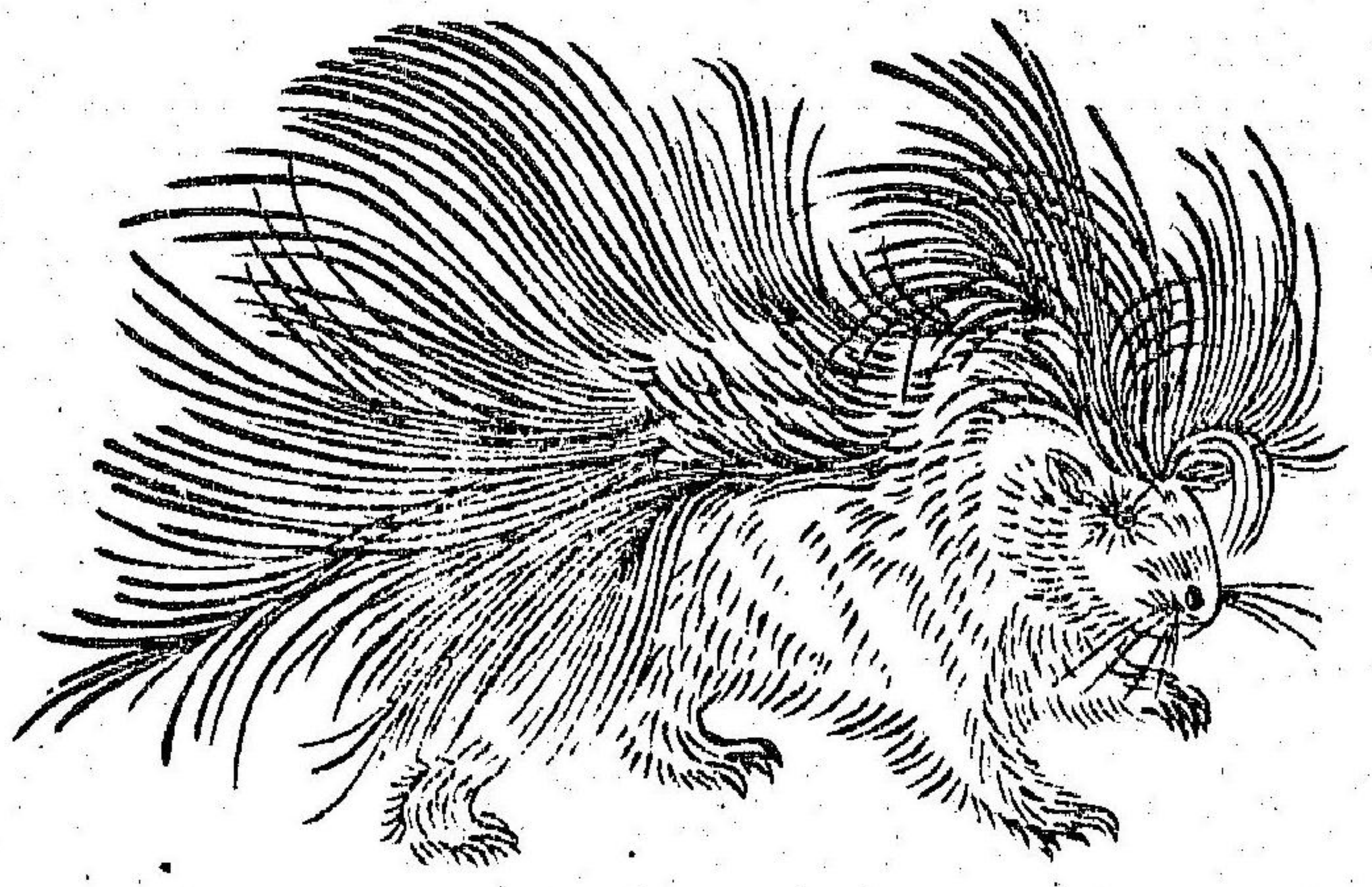
羅底馬阿



剛葛鹿



猪 箭



首論第九

凡ソ動物ノ首ト喙トハ、各意義アリ、或ハ能ク活物ヲ
 生擒リ、或ハ能ク土ヲ穿テ穴ヲ為リ、或ハ樹木ヲ擣テ
 食ヒ、哈虫ハ木漿ヲ飲ミ、或ハ草ヲ食ヒ、或ハ穀ヲ食ヒ、
 或ハ樹仁ヲ齧ヒ、或ハ水物ヲ擣リ、或ハ五味ヲ辨ヘ、或
 ハ呼吸シテ叶ヒ辨フ、或ハ掘フレ門ス、用自ラ衛護リ
 テ相宜カラザルナシ、虎狼狐犬ハ唇ウスクメ、捷ニシ
 テ皆能ク活物ヲ生擒リ、牛ハ唇ヲ厚クシテ廣シ、能
 ク多ク草ヲ茹フ、羊馬ハ唇ヲ善ク萌芽ヲ嚙ミ、馬牛羊
 ノ舌ハ長クシテ粗ク澀リ、豕ハ能ク塗ヲ掘テ食ヲ養
 ム、虫豸田鼠ハ俱ニ能ク地ヲ穿テ穴ヲ為ル、皆其喙ニ

賴テ以テ用ヲ為ス、假令ハ牛ノ唇ヲ或ハ豕ニ類シ、或
 ハ犬ニ類セハ、必ス生ル能ハス、獸ノ類ニ惟象ハ尤モ
 奇ナリトス、其首極テ大、極テ重シ、若シ其頸復長キ片
 ハ首ヲ舉ル能ハズ、故ニ其頸短シ頸短キ片ハ、首地ニ
 及ブテ能ハズ、亦々掉轉ニモ便ナラズ、其レ何ヲ以テ
 カ飲食セン、故ニ其鼻獨長シ、且ツ伸縮ニ如意ナリ、運
 轉モ自然ニシテ幾ト手ニ類ス、以テ下レハ草芥モ拾
 フヘシ、以テ上レハ木葉モ攀ヘシ、鼻ノ末ニ一物アリ、
 類シテ指ノ如シ、之ヲ鼻端ニ按テ以テ微物ヲ拾フ、針
 ノ如ク刺ノ如シ、鼻ニ二孔アリテ、通シテ腦ニ入ル、能
 ク多ク水ヲ吸ヒ、以テ自ラ飲ムベシ、以テ身ヲ漂フヘシ

噴テ之ヲ出シ、兩霧ノ如シ、昔シ一ノ死象ノ鼻ヲ解剖
 スルアリ、其内ノ筋絡ヲ視ルニ、四萬條ヲ具有リ、故ニ
 其運動モ自然ニシテ、為スル能ハサルナシ、亦タ聰明
 ヲ具有セリ、西洋國ニ一裁縫アリ、工作セシニ方テ適
 一象至ルアリ、牖ヨリ其鼻ヲ伸シテ、案上ニ及ブ、裁縫
 ガ針ヲ以テ其鼻端ヲ刺シテ之ヲ戯ル、象ガ從容トシ
 テ去リ、水ヲ吸ヒ鼻ニ滿テ從容トシテ來ル、再ヒ其鼻
 ヲ伸シ室内ニ入り、噴テ之ヲ出ス裁縫モ懼テ逃ル、幾
 ド溺ニ遭如シ、復長牙ニツアリ、約ソ六尺餘、其重サ約
 ソ六十斤ヨリ、百五十斤ニ至ル、能ク兵刃ヲ作りテ、人
 物ヲ殺ス、能ク樹木ヲ堀リ倒シテ、其木葉ヲ食フ、犀牛

大象ニ類シテ差ヒ、微シ体亦タ極ノテ重シ、脛亦タ甚
 ダ短カシ、角ナク長鼻ナシ、甚シキ物以テ自ラ衛ルナ
 シ、上帝其鼻ヲノ、一角ヲ生シ極ノテ長ク、大ニシ甚タ
 鋒利ナラシメ、水ヲ喜ヒテ藪澤ニ宜シク、門ニ長シ
 能ク象ニ敵シテ之ニ勝リ、昔シ印度ノ人、其角ヲ取テ
 醫藥ニ作り、或ハ毒物アルハ其角ヲ以テ之ヲ試シ、角
 必ス汗ス、飲食或ハ宜シカラザルアレハ、角内ニ實レ
 ハ即チ沸溢ス、或ハ冷水ヲ以テ角内ニ注テ、攪ルニ鐵
 箸ヲ以テスレハ水色ヲ變ジ、疾ヲ療スヘシ、印度ノ東
 南ニ一島アリ、瓜哇ト云フ地ニ野豕ヲ産ム、左右頬各
 長齒二枚ガ上ニ向フアリ、其末ハ内ニ勾レリ、其睡ル

時ニ卧シテ立タス、將ニ其左右ノ齒ヲ樹木ニ掛リ以テ其首ヲ懸ル猿猴ハ喜テ果ヲ食ヒ而シテ凡テ果ハ皆柔カナル技ニ宜シク、猿猴モ上攀ルニ穩固ニメ、食ニ足ルヲ能ハス、亦タ復ビ手ニ携ルヲモ能ハス、上帝其頰ノ下ヲシテ袋ヲ生ゼシメテ、人ノ囊索アルガ如ク、然リ、故ニ以テ果ヲ懷ニシテ以テ時ヲ移スノ需ニ備フヘシ、亦々以テ其子孫ヲ飼フ、アフリカ國ノ産ニ一獸アリ、喜テ蟻ヲ食フ、身体ハ極テ大ナリ、以テ食ニ足ルヘシ、一ノ長キ舌ヲ生ジ約ソ三尺餘アリ、其舌味ヒアリテ蟻ノ為ニ慕ル、毎ニ大樹ノ下ニ卧シテ隠ル、其體ヲ木葉ノ中ニ於テ、其舌ヲ外ニ伸シテ蟻ノ集リ濃

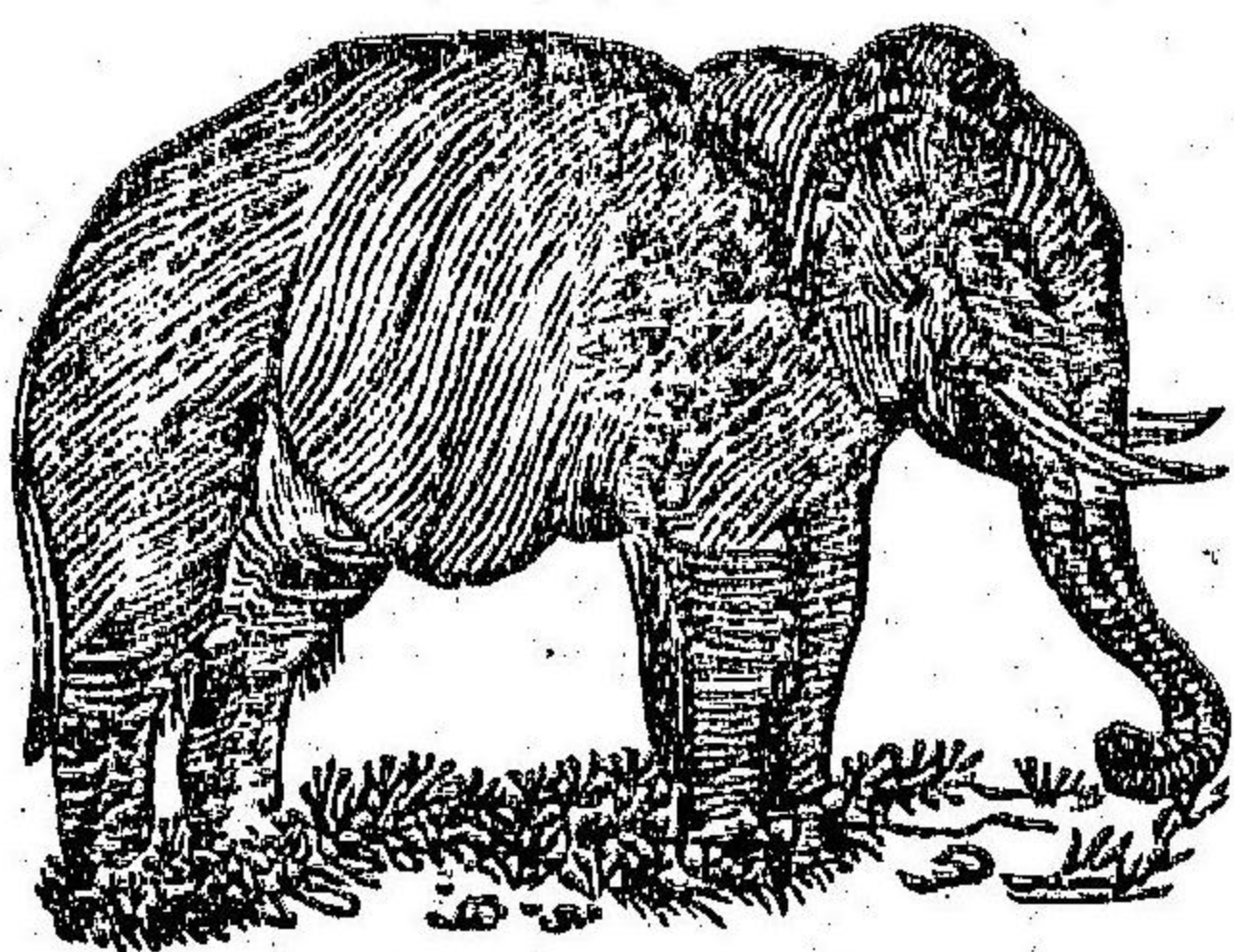
ク厚キヲ待チ巻テ之ヲ食フ、又一獸ハ中土ニ之ナシ、西人名テ知兒拉夫ト云フ、其獸ノ中ニ在リテ、體極メテ高シ、與ニ比ブル者ナシ、約ソ二十尺、食フニ反嚙ス性質ハ約ソ鹿ト駱駝ノ間ニアリ、其外貌ハ極メテ高キ馬匹ニ類ス、最モ喜テ極高ノ木葉ヲ食フ、故ニ其頸極メテ長シ、尤モ奇ナル者ハ、其舌ノ伸縮ハ如意ニシテ、愈伸シ而メ其末愈細シ、能ク伸シ長キヲ若干、木枝ヲ纏繞リテ折下シテ其葉ヲ食フ、此レ亦アフリカ國ノ産ナリ、凡ソ畜ノ齒類ニ三アリ、一ハ門齒ハ嚙ニ利シ、左右ノ推齒ハ製裂ニ利シ、後ノ即チ食齒ハ二ニシテ同シカラス、甚タ利ナル者ト亦タ不利ノモノトア

リ其類ハ旋磨ノ如シ上下齒相ヒ宜シ絶テ齒ナキ者
 アリ即チ虫豸ヲ食フ者ハ其齒ニ需メナキガ為ナリ
 齒ノ二類アル者ハ門齒食齒ナリ山猫松鼠家鼠啣
 豚等ハ門齒極テ長ク亦タ甚タ利シ木工鋸刀ト雖モ
 之ニ過ルナシ又希奇者人物齒牙ハ生シ成テ易ラス
 脱ルルハ復タ生セス此諸畜類ハ其門齒日ニ漸ク増
 長ス其堅硬モ嚙バ損シヲ致シ易ク日ニ長スルニ
 非ルルハ日ニ銷ル假令バ其下ノ門齒ガ脱落スト其
 上ノ門齒ハ對ナクシテ而ノ又日ヲ逐テ漸ク長ス必
 ス齒床ニ損ヲ受テ食ズシテ死ヲ致サン牛羊ノ齒ハ
 二ノ數俱ニ足ズ其胃ノ内分テ四ノ處アリ幾ド四胃

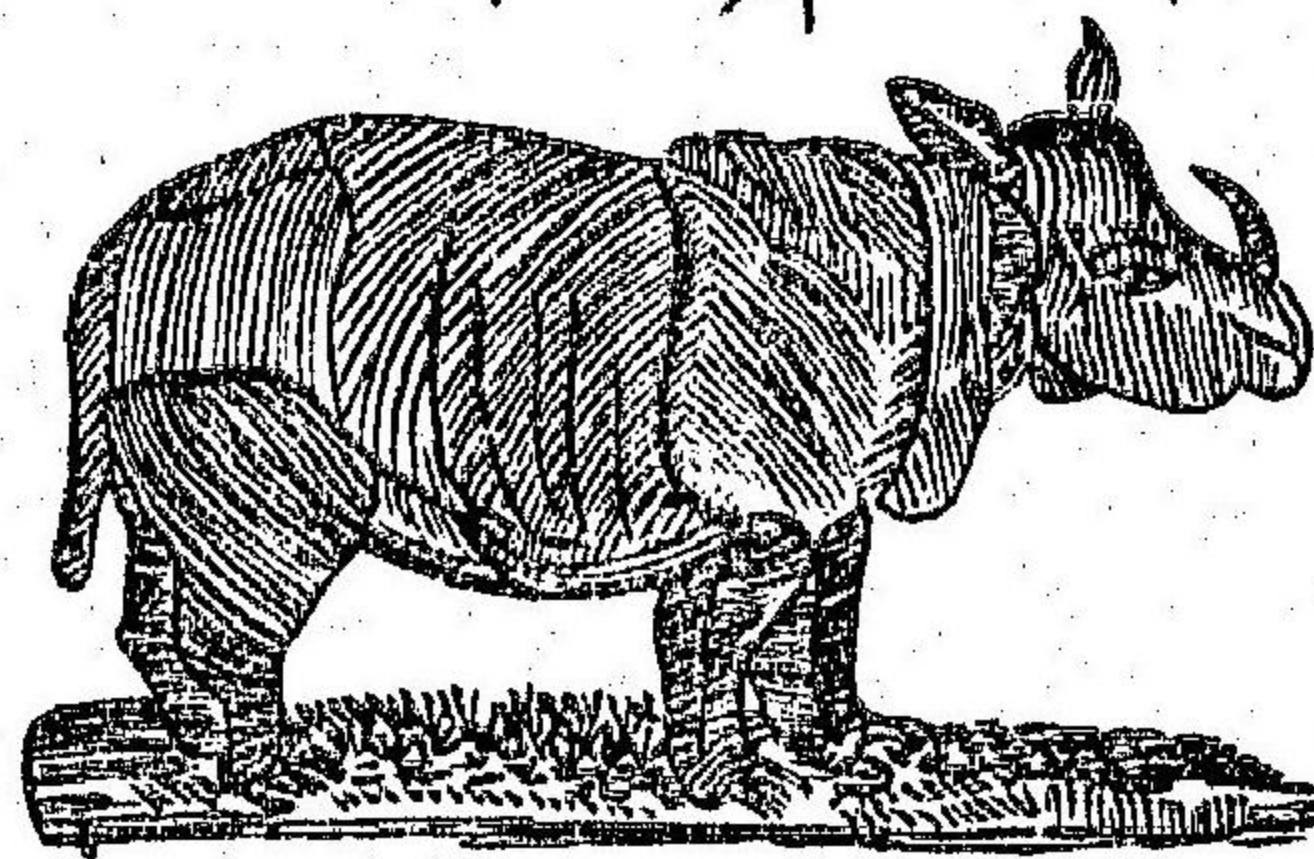
ノ如ク等シ以テ齒力ノ不足ヲ助クベシ芻ハ胃ニ入
 テ後ニ齒ク反嚙ス象ハ惟食齒ノミ齒力足ラス亦タ
 逐漸ニ增長スルニ非ズシハ傷敗ヲ致シ易シ乃チ其
 齒ノ後ニ毎ニ新齒ノ生來アリ舊齒ハ傷落ス即チ前
 ノ舊齒ノ地ニ接入ル後ニ復タ新齒ガ焉ニ生スルア
 リ虎狼熊犬ハ門齒ハ大ナラス推齒ハ則チ大ニシテ
 甚タ利シ善ク生物ヲ擧ク凡テ物畜ノ齒ハ同ジカラ
 ス穀ノ宜キ者アリ牛羊ノ類ノ若シ穀ノ宜キ者アリ
 鼠ノ類ノ若シ肉ノ宜シキ者アリ犬ノ類ノ若シ惟ニ
 人ハ則チ兼ネザルハナシ故ニ食ニ宜シカラザルナ
 シ凡ソ人ハ初生レテ齒ガ小サクシテ齒床モ亦タ狭

シ其長ナルニ及テヤ、齒床日ニ闊ク、惟ニ齒ハ則チ
 減シテ易ラス、則チ其齒ガ必ス疎漏ナレハ、食ニ多ク
 宜シカラス、上帝ガ其初メニ生スルノ齒ハ、時ニ及テ
 脱落テ、而シテ巨齒ヲ重ネテ生テ、極メテ密緻ヲ為サシ
 ムルナリ、

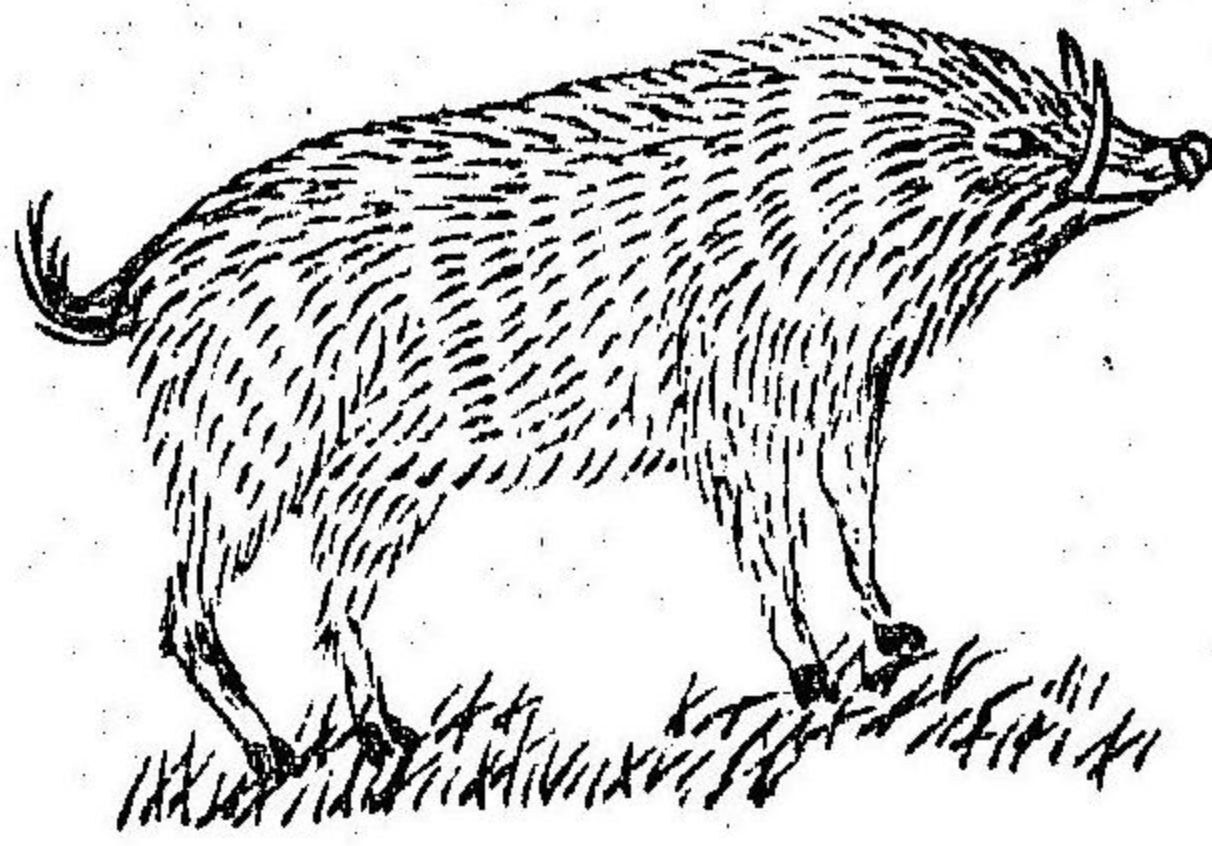
象



牛犀



猪野



知兒拉夫

格物探原譯解卷之一終

